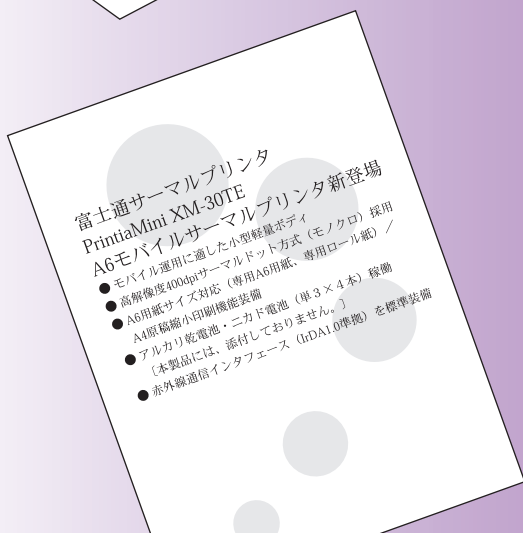
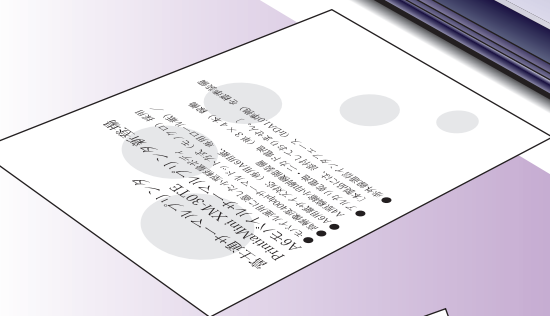
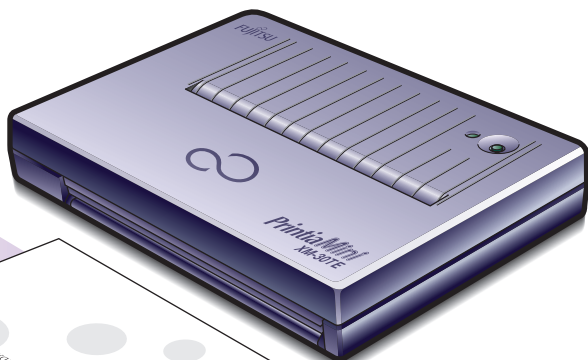


PrintiaMini

XM-30TE

取扱説明書



FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。

● VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

● 国際エネルギースタープログラムについて



この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。

国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ及び複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、サーマルプリンタPrintiaMini XM-30TEをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2000年10月

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

PrintiaMiniおよびXM-30TEは、富士通株式会社の商標です。

本書に記載されている上記以外の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

● 本文中の略語について

本文中では、製品名称を以下のように略して表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional → Windows 2000

Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me

Microsoft® Windows® 98 operating system → Windows 98

Microsoft® Windows® 95 operating system → Windows 95

Microsoft® Windows® CE operating system for Handheld PC devices Version 2.0/Microsoft® Windows® CE Handheld PC Professional Edition version3.0 → Windows CE

また、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95を総称する場合はWindowsと表記しています。

● 警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味

	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ずしたがっていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

電源についてのご注意



ACアダプタは、交流100V専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

火災や感電の原因となります。(2A以上のコンセントを使用してください。)

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないでください。

電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

必ずプリンタ専用(オプション)のACアダプタをお使いください。延長コードは使わないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

電源コードやACアダプタが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンタにご連絡ください。



濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



ACアダプタやコンセントに付着したほこりは必ず取り除いてください。

そのまま使用すると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原因となります。



次のようなときは直ちに使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。電池をご使用の場合は、電池を抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

- ・プリンタから発煙したり、プリンタの外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音がするとき
- ・プリンタの内部に水が入ったとき

そのまま使用すると発火の原因となります。

近くで雷が起きたときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。



注意



ACアダプタはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災や故障の原因となることがあります。



プリンタの清掃および保守、故障の処置を行うときは、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電池をご使用の場合は、電池を抜いてください。

電源を切らずにプリンタの清掃および保守、故障の処置を行うと、感電の原因となることがあります。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電池をご使用の場合は、電池を抜いてください。

火災や感電の原因となることがあります。



ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。

電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずACアダプタを持って抜いてください。

必要なとき以外、ACアダプタを抜き差ししないでください。

ACアダプタを頻繁に抜き差しすると、誤動作の原因となることがあります。

設置および移動時のご注意



高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所、腐食性ガスや潮風にさらされる場所、エアコンの前など極端に温度が変わる場所などにはプリンタを設置しないでください。

火災や感電、誤動作の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所にはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。



風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。



振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちるなどしてケガの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

プリンタ使用上の注意



警告



**プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の
入った容器を置かないでください。**

水がこぼれた場合、火災や感電の原因となります。

プリンタの上に金属類を置かないでください。

すき間などから内部にクリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、プリンタ内部がショートし、火災や感電の原因となります。



異物（金属片、水、液体など）が内部に入ったときは、ただちにACアダプタをコンセントから抜いてください。電池をご使用の場合は、電池を抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損したときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。電池をご使用の場合は、電池を抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

火災の原因となります。



万一、異常な加熱やにおいがするなど異常な状態のまま使用すると火災や、感電の原因になります。すぐに電源を切り電池、またはDC入力はずしお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災や感電の原因となります。

開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災や感電の原因となります。



注意



プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

引火の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

落下したりしてけがの原因となることがあります。



ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。

誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。



つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないようにしてください。

ケガをすることがあります。

機器の動作中は、給紙口や排紙口に手を触れないよう注意してください。

ケガをすることがあります。



機器の開口部をふさがないでください。

開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

使用中の機器は布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電池使用上の注意



製品に強い衝撃を加えると電池の液漏れのおそれがあります。電池の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがありますので、すぐに水洗いし、医師の診断を受けてください。



電池は使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- ・電池で長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますので注意してください。
- ・+/-の向きを正しく入れてください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池をショートさせたり、分解したりしないでください。またアルカリ電池等の充電できない電池を充電しないでください。
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。故障の原因となります。
- ・使用期限の過ぎた電池は使用しないでください。



連続印字直後は電池が高温になる場合があります。電池交換の際は、注意してください。

火傷をすることがあります。

目次

1	お使いになる前に	1
	本プリンタの特長	2
	ドライバについて	3
	XM30-CBL2 ドライバの動作環境	3
	プリンタドライバの動作環境	4
	製品の確認	5
	各部の名称と機能	6
	使用上のお願い	10
2	設置から印刷まで	11
	電池をセットする	12
	AC アダプタを接続する	14
	パソコンとプリンタを接続する	16
	赤外線通信で接続する	17
	プリンタ USB ケーブルで接続する	18
	プリンタケーブルで接続する	20
	XM30-CBL2 ドライバをインストールする	22
	Windows Me の場合	22
	Windows 2000 の場合	25
	Windows 98 の場合	27
	プリンタドライバをインストールする	30
	Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合	30
	Windows 2000 の場合	36
	Windows CE の場合	44

用紙をセットする	47
ロール紙をセットする	47
カット紙をセットする	49
印刷する	50
3 印刷に関する設定	53
設定ダイアログを表示させる	54
ダイアログボックスの構成	56
Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合	56
Windows 2000 の場合	57
Windows CE の場合	58
設定内容の詳細	59
Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合	59
Windows 2000 の場合	63
4 印刷ジョブの表示と操作	
(スプールマネージャ)	67
〔スプールマネージャ〕ウィンドウを表示させる ..	68
〔スプールマネージャ〕ウィンドウの構成	70
設定内容の詳細	71
5 日常のお手入れ	75
プリンタ内部を清掃する	76
プリンタヘッドを拭く	77

6	用紙について	79
	用紙仕様	80
	使用できる用紙について	81
7	その他の操作	83
	印刷先のポートを変更する	84
	プリンタドライバの入手と削除	88
	最新のプリンタドライバを入手する	88
	XM30-CBL2 ドライバを削除する	90
	プリンタドライバを削除する	91
	再インストール	94
8	オプション	95
	AC アダプタ	96
	プリンタ USB ケーブル	97
	プリンタケーブル	98
付	録	99
	装置仕様	100
	メッセージについて	102
	サプライ品 / オプション品を注文する	105
	アフターサービス	106
	用語集	109

困ったときは	115
お問い合わせの多いご質問	116
インストール時のトラブル	117
印刷が行われない	118
印刷速度が遅い	121
用紙に関するトラブル	123
印刷結果がおかしい	125
印刷品質が良くない	125
エラーが発生した	127
 索引	 131

お使いになる前に

本プリンタの特長	2
ドライバについて	3
製品の確認	5
各部の名称と機能	6
使用上のお願い	10

本プリンタの特長

1 小型で軽量

本プリンタは、電池（単3サイズ4本、別売）で作動するA6サイズの熱転写方式の小型プリンタです。どこでも手軽に持ち運んでお手持ちのノートパソコンやハンドヘルドPCのデータをすぐに印刷することができます。用紙はロール紙、カット紙から用途に応じて選べます。

2 赤外線通信によるデータ受信(*)

本プリンタは、赤外線通信による印刷が可能です。ケーブルを接続しなくても、パソコンの赤外線ポートから送信したデータを受信し、印刷します。

(*)Windows 95 ではご使用になれません。

3 簡単なメンテナンス

熱転写方式であるため、インクリボンなどは不要です。簡単なお手入れだけでお使いいただけます。

ドライバについて

本プリンタをお使いいただくためには、プリンタ USB ケーブルのドライバ(以降XM30-CBL2ドライバと呼びます)とプリンタドライバのインストールが必要です。それぞれ、本プリンタにフロッピーディスクで添付されています。

先にプリンタ USB ケーブルを本プリンタに接続した後、パソコンに接続し、XM30-CBL2 ドライバをインストールしてからプリンタドライバをインストールします。

ただし、USB ケーブルを使用しない場合は、XM30-CBL2ドライバをインストールする必要はありません。

1

お
使
い
に
な
る
前
に

▼ XM30-CBL2 ドライバの動作環境

XM30-CBL2 ドライバは、次のシステムおよび環境でご使用になることができます。

ソフトウェア(OS) : Windows Me、Windows 2000、
Windows 98(*)

(*)本プリンタに添付のプリンタUSBケーブル(XM-30CBL2)はWindows 95、Windows CE では動作しません。

ハードウェア : 以下の条件を満たしているパソコン

- USB コネクタのある Windows Me、Windows 2000、Windows 98 プレインストールモデルの PC / AT 互換機

▼ プリンタドライバの動作環境

本プリンタドライバは、次のシステムおよび環境でご使用になることができます。

ソフトウェア(OS) : Windows Me、Windows 2000、
Windows 98、Windows 95(*1)、
Windows CE(*1)

(*1) 本プリンタに添付のプリンタ USB ケーブル (XM30-CBL2)はWindows 95、Windows CE では動作しません。Windows 95で本プリンタを使用するには、別途プリンタケーブル (XM30-CBL3)のご購入が必要です。Windows CEでは赤外線シリアルポートのみ使用できます。

ハードウェア : 以下の条件を満たしているパソコン、ハンドヘルド PC

- CPU が i486SX 以上で、Windows Me、Windows 2000、Windows 98、Windows 95 が動作する PC/AT 互換機、または Windows CE が動作するハンドヘルド PC

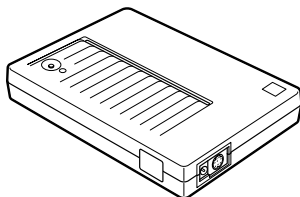
■ パソコンの場合

- USBポート、IrDA1.0/1.1(*2) 準拠の赤外線シリアルポート、または115.2kbps で通信可能なシリアルポートが使用できるパソコン
 - Windows 95 での USB 接続、赤外線通信はサポートしていません。
 - ハードディスクの空き容量が約 1MB 以上あること
 - RAM が 16MB 以上あること
- (*2) IrDAはInfrared Data Associationの規格です。

製品の確認

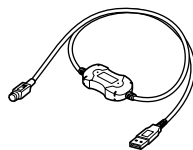
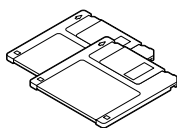
本装置は、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合はご購入元にご連絡ください。

プリンタ本体

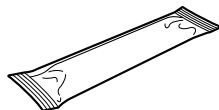


XM-30TE セットアップディスク

XM30-CBL2 セットアップディスク プリンタ USB ケーブル



サーマルロール紙



保証書

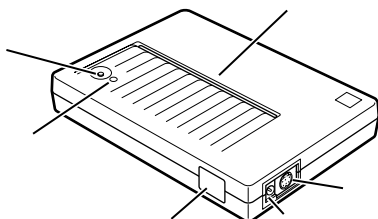
修理・サービス網一覧表

取扱説明書（本書）

各部の名称と機能

本プリンタ各部の名称と機能は、次のとおりです。

■ 前面



電源スイッチ

電源を入れたり切ったりします。

- * 電源スイッチによるプリンタの動作は以下のとおりです。
- ・ 電源が切れているとき
電源スイッチを押すと電源が入ります。ただし、1秒以上押し続けると電源が切れている状態に戻ります。
- ・ 電源が入っているとき
電源スイッチを押すと電源が切れます。ただし、1秒以上押しつづけると、押している間は紙送りを行います。

電源表示ランプ

電源の状態を表示するランプです。点灯のしかたでプリンタの状態がわかります。

- * 電源表示ランプは、電源を入れるとプリンタの状態によって、次のような点灯のしかたをします。

点灯のしかた	プリンタの状態
速い点滅(0.1秒ごとにオン/オフ)	プリンタ初期化中
遅い点滅(0.2秒オン、0.3秒オフ)	電池電圧低下時
連続点灯	待機時、印刷時

赤外線通信インタフェース部

赤外線通信によりデータを受信する部分です。

DC 入力部

AC アダプタの DC 電源ケーブルの接続部分です。

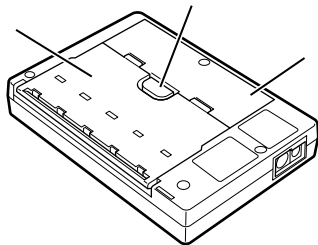
シリアルポート

プリンタUSBケーブルまたはプリンタケーブル(XM30-CBL3・オプション)でパソコンと接続するためのポートです。

用紙挿入部

カット紙に印刷するときに、用紙を挿入します。

■ 背面



1

お
使
い
に
な
る
前
に

ペーパーカバーロック

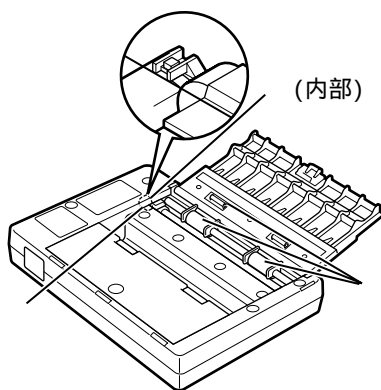
セットしたロール紙をカバーし、ロックします。

ペーパーカバー

ロール紙をセットするときに開閉します。

電池カバー

電池の装着のときに開閉します。



印字ヘッド

64ドットシリアルサーマル方式により印字を行います。

印字ヘッドには絶対に触れないようご注意ください。

印字ヘッドにゴミ、ほこり等が付着すると印字不良の原因および印字ヘッドの破壊につながる場合があります。

紙送りローラ

用紙の搬送を行います。

用紙センサー

用紙の有無を検知します。

使用上のお願い

1

お
使
い
に
な
る
前
に

- 長時間直射日光のあたる場所や、エアコンの前など、極端に温度が変わる場所には放置しないでください。温度、湿度が、以下の範囲内の場所に保管してください。

周囲温度：5 ～ 35

周囲湿度：30 ～ 80%（結露しないこと）

- ホコリ、腐食性ガス、潮風にさらされる場所への放置は避けてください。
- 磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くで使用しないでください。プリンタの故障や誤動作の原因になるばかりではなく、ラジオやテレビに電波障害が起こる場合があります。
- プリンタは、水平で安定した場所で使用してください。また振動のある場所では使用しないでください。
- プリンタの上に物を置かないでください。

設置から印刷まで

電池をセットする	12
A C アダプタを接続する	14
パソコンとプリンタを接続する	16
XM30-CBL2 ドライバをインストールする	22
プリンタドライバをインストールする	30
用紙をセットする	47
印刷する	50

電池をセットする

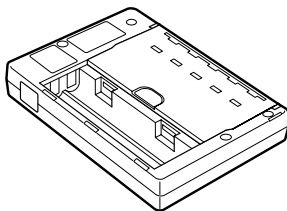
プリンタに電池（別売）をセットします。電池カバーを開け、電池をセットします

電池をセットするときは、必ず電源を切ってから行ってください。

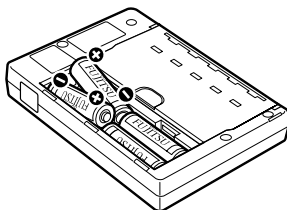
電池は単3サイズを4本使用します。

ACアダプタから電源を取る場合は電池のセットは必要ありません。ACアダプタの接続は14ページをご覧ください。

1 電池カバーを開ける。



2 ⊕, ⊖ の指示にしたがって電池をセットし、電池カバーを閉める。



- * 電池を使用する場合、使用環境によって印字可能枚数が異なります。
 - ・低温で使用される場合は、印字可能枚数が著しく減少します。
 - ・低温環境や電池の消耗が進むと印字に濃淡が現れます。
- * 電源スイッチのオン / オフを繰り返すと印字可能枚数が減少します。印字直前に電源を入れることをお奨めします。
- * 連続印字の直後は、電池が熱くなる場合があります。電池交換時にはご注意ください。
- * 連続印字後、再び電源スイッチを入れる場合は、5分以上の間隔を開けてください。
- * 約3分間印字が行われなかった場合は、自動的に電源が切断されます。

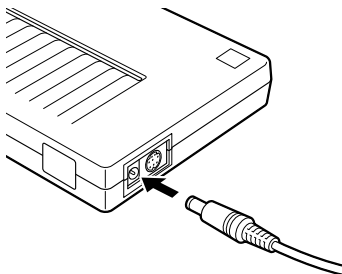
AC アダプタを接続する

本プリンタは、専用ACアダプタ（XM30-AC1・オプション）で家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

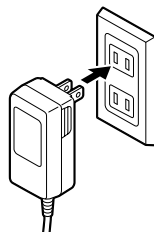
電池から電源を取る場合はACアダプタの接続は必要ありません。電池のセットは12ページをご覧ください。

ガイド パソコンとプリンタをケーブル接続する場合でACアダプタをお使いになる場合は、必ずケーブル接続を行った後にACアダプタを接続してください。

- 1 電源が切れていることを確認し、ACアダプタのジャックを本体のDC入力部に接続する。



2 電源プラグをコンセントに接続する



- * 本体の DC 入力部に専用 AC アダプタ (XM30-AC1) 以外のものを接続しないでください。
- * AC アダプタを長時間接続すると AC アダプタ、プリンタ本体が熱を持つことがあります。故障ではありません。
- * AC アダプタを接続して印刷を行うときは AC アダプタのコードが用紙や排紙部分、赤外線ポートにかからないよう注意してください。
- * 約 60 分間印字が行われなかった場合は、自動的に電源が切断されます。

2

設置から印刷まで

パソコンとプリンタを接続する

パソコンとプリンタを接続するには、以下の3通りの方法があります。

- ・ 赤外線通信で接続

Windows Me、Windows 2000、Windows 98 がインストールされているパソコンで赤外線通信ポートがある場合、またはWindows CEを搭載したハンドヘルドPCの場合は、赤外線通信で印刷することができます。この場合はケーブル接続は必要ありません。

- ・ プリンタ USB ケーブルで接続

Windows Me、Windows 2000、Windows 98 がインストールされているパソコンで、USB ポートが搭載されている場合、本プリンタに添付のプリンタ USB ケーブルでパソコンの USB ポートとプリンタのシリアルポートを接続して印刷できます。

- ・ プリンタケーブルで接続

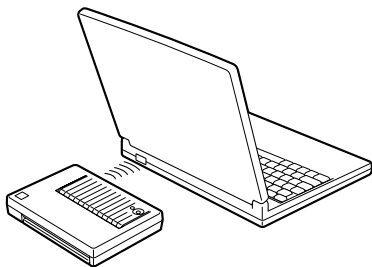
Windows Me、Windows 2000、Windows 98、Windows 95 がインストールされているパソコンでシリアルポートが搭載されている場合、オプションのプリンタケーブル(XM30-CBL3)でパソコンのシリアルポートとプリンタのシリアルポートを接続して印刷できます。

赤外線通信で接続する

赤外線通信は、パソコンの赤外線ポートとプリンタの赤外線通信インタフェース部が向き合うように設置して行います。

赤外線通信を行うためには、パソコンまたはハンドヘルドPCの赤外線通信ポートを使用可能な状態に設定しておく必要があります。

- ・Windows 98 の場合は、[スタート][設定][コントロールパネル] の順にアイコンをクリックし、[赤外線モニタ] のアイコンをダブルクリックします。[赤外線モニタ] の [オプション] タブをクリックして [赤外線通信を使用可能にする] をチェックし、[通信速度を制限する] を 115.2kbps とします。
- ・Windows 2000 および Windows Me の場合、設定の必要はありません。
- ・ハンドヘルドPCの場合は、通常使用可能な状態となっています。



- ・通信可能距離は 30cm 以内です。
- ・通信可能角度は光軸に対して ± 15 度です。
- ・直射日光や強い外乱光の下では通信できませんので、遮光してください。

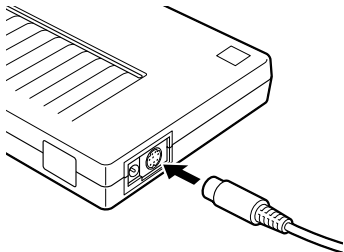
- * Windows の赤外線ポートドライバは、マイクロソフト社の赤外線通信デバイスドライバを推奨します。
- IrDA の設定はお使いのパソコンによって異なります。IrDA ドライバをインストールするとき、I/O ポートアドレス、IRQ 等のシステム資源が他と重ならないようにしてください。
- お使いのパソコンによっては赤外線シリアルポートが使用不可能状態になっている場合があります。この場合はパソコンの取扱説明書に従って BIOS の設定を変更してください。
- IrDA1.1 対応のパソコンでは IrDA1.0 との通信をするとき、通信速度のオフセットが 2400bps となっている場合があります。この場合は、通信速度の設定を 115.2kbps に変更してください。
- プリンタ USB ケーブル(XM30-CBL2)またはプリンタケーブル(オプション・XM30-CBL3)を接続した状態では赤外線通信を使用できません。

▼ プリンタ USB ケーブルで接続する

本プリンタ添付のプリンタ USB ケーブルで、パソコンとプリンタを接続する場合は、以下の手順に従ってください。

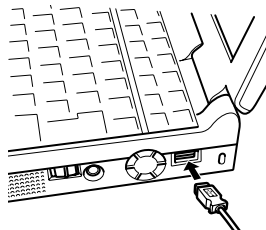
プリンタ側

プリンタ側面のシリアルポートにプリンタ USB ケーブルのコネクタを差し込みます。



パソコン側

プリンタUSBケーブルのパソコン側のコネクタを、パソコンのUSBポートに差し込みます。パソコンのプラグ アンド プレイでケーブルが検知されますので、22 ページを参照し、XM30-CBL2 ドライバをインストールしてください。



- 通信ポートの設定はお使いのパソコンによって異なります。I/O ポートアドレス、IRQ 等のシステム資源が他と重ならないようにしてください。
- お使いのパソコンによっては通信ポートが使用不可能状態になっている場合があります。この場合はパソコンの取扱説明書に従ってBIOSの設定を変更してください。
- [ポートの設定] を以下のように設定してください。

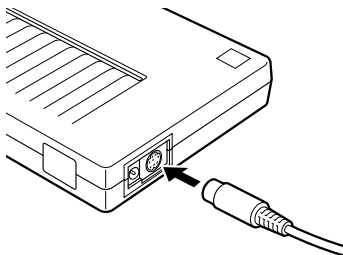
ビット / 秒	: 115200bps
データビット	: 8 ビット
パリティ	: なし
ストップビット	: 1 ビット
フロー制御	: ハードウェア
- プリンタUSBケーブルを接続した状態でIrDAは使用できません。
- USB ハブの接続は最大 4 つまで可能です。ただし、プリンタUSBケーブルに24mA以上の電力を供給する必要があります。

▼ プリンタケーブルで接続する

オプションのプリンタケーブル(XM30-CBL3)でパソコンとプリンタを接続する場合は、以下の手順に従ってください。

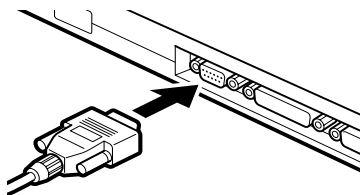
プリンタ側

プリンタ側面のシリアルポートにプリンタケーブルのコネクタを差し込みます。



パソコン側

プリンタケーブルのパソコン側のコネクタを、パソコンのシリアルポートに差し込みます。



- 通信ポートの設定はお使いのパソコンによって異なります。I/O ポートアドレス、IRQ 等のシステム資源が他と重ならないようにしてください。
- お使いのパソコンによっては通信ポートが使用不可能状態になっている場合があります。この場合はパソコンの取扱説明書に従って BIOS の設定を変更してください。
- [ポートの設定] を以下のように設定してください。

ビット / 秒	: 115200bps
データビット	: 8 ビット
パリティ	: なし
ストップビット	: 1 ビット
フロー制御	: ハードウェア
- プリンタケーブルを接続した状態では IrDA は使用できません。

XM30-CBL2 ドライバをインストールする

2

設置から印刷まで

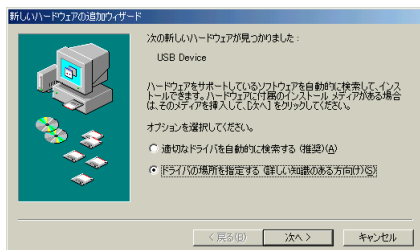
プリンタ USB ケーブルを動作させるには、パソコンにそれぞれの OS に対応した XM30-CBL2 ドライバをインストールする必要があります。

プリンタ USB ケーブルをパソコンに接続すると、プラグ アンド プレイで検出され、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」というダイアログボックスが表示されます。その場合は以下の手順で XM30-CBL2 ドライバをインストールしてください。

その後、プリンタドライバをインストールしてください。(**「プリンタドライバをインストールする」**(30 ページ)を参照)

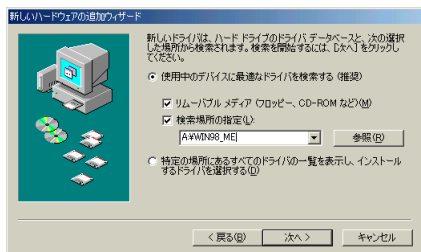
Windows Me の場合

1 「ドライバの場所を指定する」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする



2 XM30-CBL2 セットアップディスクをセットし、ドライバの検索場所を指定する

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」の「検索場所の指定」を選択し、「A¥WIN98_ME」と入力して〔次へ〕ボタンをクリックします。ソフトウェアが検出されます。



3 「更新したソフトウェア」を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする



4 [次へ] ボタンをクリックする



ファイルのコピーが開始されます。

5 インストールの完了を知らせる画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックする

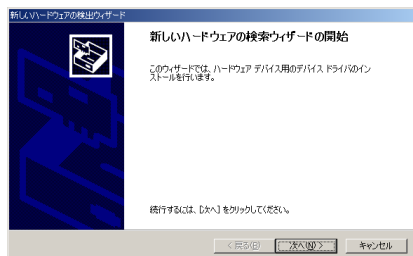


インストールが完了すると、デバイスマネージャの「ポート (COM と LPT)」に XM30-CBL2 Port (COM*) が追加されます。COM* の番号はお使いのパソコンによって異なります。

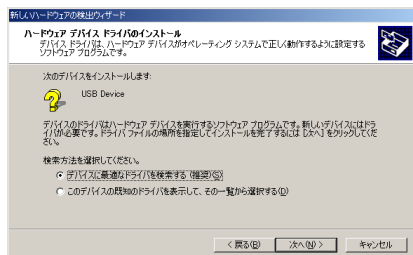
接続先のポートはプリンタプロパティの[詳細] タブの「印刷先のポート」で確認、変更できます。(「印刷先のポートを変更する」(84 ページ)を参照)

Windows 2000 の場合

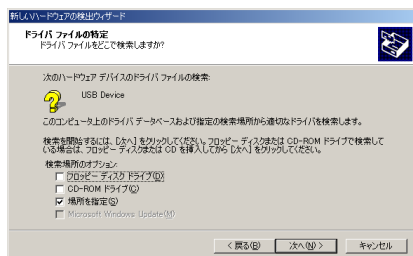
1 「次へ」ボタンをクリックする



2 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



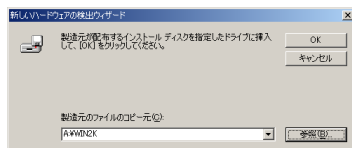
3 「場所を指定」を選択してXM30-CBL2セットアップディスクをセットし、「次へ」ボタンをクリックする



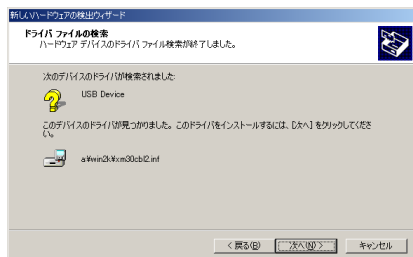
2

設置から印刷まで

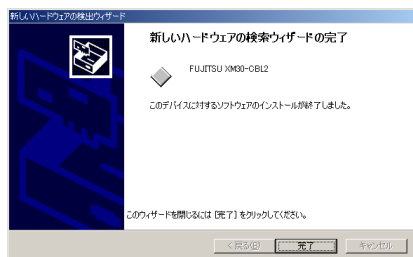
4 「A:¥WIN2K」と入力し、〔次へ〕ボタンをクリックする



5 〔次へ〕ボタンをクリックする



6 インストールの完了を知らせる画面が表示されたら、〔完了〕ボタンをクリックする



インストールが完了すると、デバイスマネージャの「ポート (COM と LPT)」に「FUJITSU XM30-CBL2 Port (COM*)」が追加されます。COM*の番号はお使いのパソコンによって異なります。接続先のポートはプリンタプロパティの[ポート]タブの「印刷先のポート」で確認、変更できます。(「印刷先のポートを変更する」(84 ページ)を参照)

2

設置から印刷まで

Windows 98 の場合

1 〔次へ〕ボタンをクリックする



- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 3 XM30-CBL2 セットアップディスクをセットし、「検索場所を指定」を選択し、「A:\WIN98_ME」と入力し、[次へ] をクリックする



4 [次へ] ボタンをクリックする



ファイルコピーが開始されます。

5 インストールの完了を知らせる画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックする



インストールが完了すると、デバイスマネージャの「ポート(COMとLPT)」に「XM30-CBL2 Port (COM*)」が追加されます。COM* の番号はお使いのパソコンによって異なります。

接続先のポートはプリンタプロパティの[詳細]タブの「印刷先のポート」で確認、変更できます。(「印刷先のポートを変更する」(84 ページ)を参照)

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するには、パソコンまたはハンドヘルドPCにそれぞれのOSに対応したプリンタドライバをインストールする必要があります。

▼ Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

2

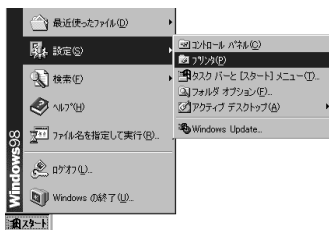
設置から印刷まで

プリンタドライバのインストールは[プリンタの追加]で行います。

操作手順はWindows Me/Windows 98/Windows 95 どれも同じです。(Windows 98を画面例としています。)

1 [プリンタ] フォルダを開く

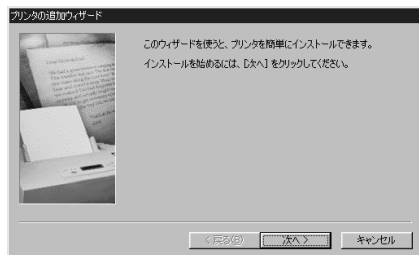
[スタート][設定][プリンタ]の順にクリックします。



2 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする

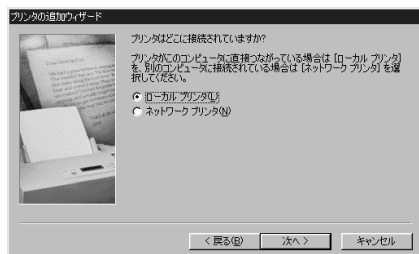


3 プリンタウィザードが起動したら「次へ」ボタンをクリックする



4 プリンタの接続先を選択する

ここでは「ローカルプリンタ」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



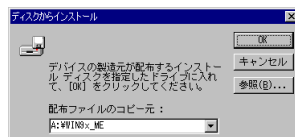
2

設置から印刷まで

5 「ディスク使用」ボタンをクリックし、XM-30TE セットアップディスクをセットする

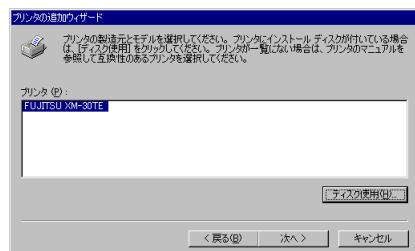


6 「A:¥WIN9x_ME」と入力し、[OK] ボタンをクリックする

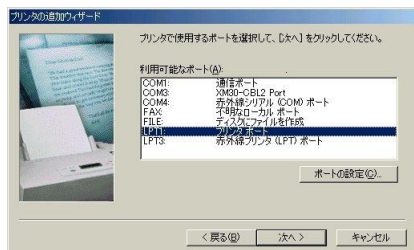


7 プリンタ名を確認する

「FUJITSU XM-30TE」になっていることを確認し、
[次へ] ボタンをクリックします。



8 プリンタが接続されているポートを選択し、 〔次へ〕ボタンをクリックする



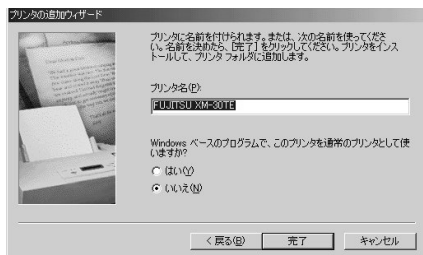
- * XM30-CBL2 をお使いになる場合は、XM30-CBL2 Port を選択します。(未接続の場合は表示されません。) XM30-CBL3 をお使いになる場合は、COM1 を選択します。
- * ケーブル接続でプリンタをお使いになる場合は、〔ポートの設定〕を以下のように設定してください。
ビット / 秒 : 115200bps
データビット : 8 ビット
パリティ : なし
ストップビット : 1 ビット
フロー制御 : ハードウェア
- * 赤外線通信でプリンタをお使いになる場合は〔赤外線シリアル(COM)ポート〕を選択します。



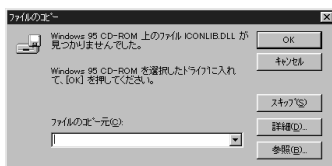
ガイド

- ・赤外線通信は、マイクロソフト社製赤外線通信デバイスドライバがインストールされた Windows Me、Windows 2000、Windows 98 プレインストールパソコンで使用できます。
- ・プリンタケーブル接続で Windows CE サービスを使用している場合、自動接続が有効な間は COM ポートが他の目的に使用できません。Windows CE サービスの〔プロパティ〕の〔通信〕タブの〔自動接続〕のオプション指定で、〔モバイルデバイスのウィンドウが開いているときだけ有効〕の設定にして、本プリンタ使用時はモバイルデバイスのウィンドウを閉じてください。

9 プリンタ名を確認し、「通常使うプリンタ」として設定する場合は「はい」を選択し、〔完了〕ボタンをクリックする



- * Windows 98/ Windows 95 の場合は、このあと、[ICONLIB.DLL] ファイルまたは[Unidrv.hlp] ファイルの場所を指定する次のようなウィンドウが表示されます。



この画面が表示されたら、Windows 98 または Windows 95 のシステム CD をセットし、[参照] ボタンをクリックして、[ファイルのコピー元] を CD-ROM ドライブ（例：D:¥WIN95）にして[OK] ボタンをクリックします。

プレインストールタイプのパソコンの場合は、[C:¥Windows¥options¥cabs] に [ICONLIB.DLL] ファイルおよび [Unidrv.hlp] ファイルがあることがあります。そのときは [C:¥Windows¥options¥cabs] を指定すれば CD-ROM は必要ありません。

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

- ・「Windows9X CD-ROM 上のファイル SBTRANS.DLL が見つかりません」というメッセージが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「A:¥Win9x_ME」を入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
- ・通常のプリンタとして使うかどうかの設定は、他のプリンタドライバがインストールされている場合に表示されます。

Windows 2000 の場合

ケーブル接続でプリンタをお使いになる場合は、プリンタドライバをインストールする前に、使用するポートを設定してください。

[ポートの設定] を以下のように設定します。

ビット / 秒 : 115200bps
データビット : 8 ビット
パリティ : なし
ストップビット : 1 ビット
フロー制御 : ハードウェア

ポートを正しく選択しないと、手順13のテスト印刷は行われません。

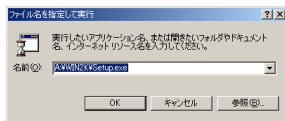
プリンタドライバのインストールはXM-30TE セットアップディスクの「setup.exe」を起動して行います。

- 1 [スタート]メニューから[ファイル名を指定]をクリックする

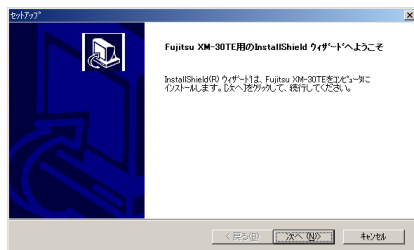


- 2 XM-30TE セットアップディスクをセットし、以下を入力し、[OK] ボタンをクリックする

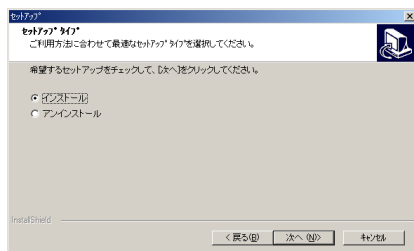
A: ¥WIN2K¥setup.exe



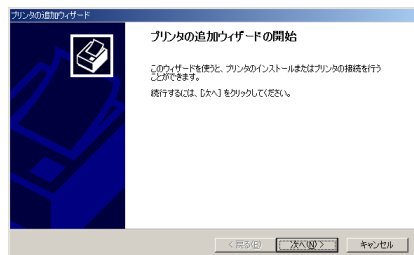
3 セットアップ画面が起動したら〔次へ〕ボタンをクリックする



4 「インストール」を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする



5 プリンタウィザードが起動したら〔次へ〕ボタンをクリックする



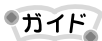
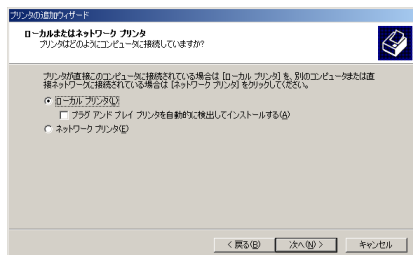
2

設置から印刷まで

6 プリンタの接続先を選択する

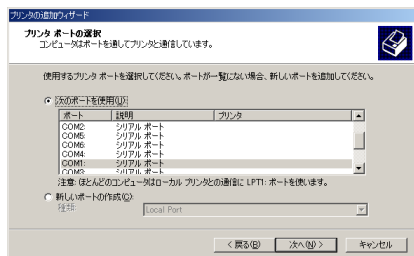
ここでは「ローカルプリンタ」を選択し〔次へ〕ボタンをクリックします。

「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックが付いているときは、チェックを外してください。

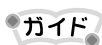


ガイド お使いのパソコンがネットワーク環境にない場合は、この画面は表示されません。

7 プリンタが接続されているポートを選択し、 〔次へ〕ボタンをクリックする



- * プリンタ USB ケーブルをお使いになる場合は、XM30-CBL2 ドライバのインストール時に使用したCOMポートを選択します。(未接続の場合は表示されません。)プリンタケーブルをお使いになる場合は、COM1 を選択します。
- * 赤外線通信でプリンタをお使いになる場合は[赤外線シリアル(COM)ポート]を選択します(IrDAのポート名はお使いのパソコンによって異なります)。



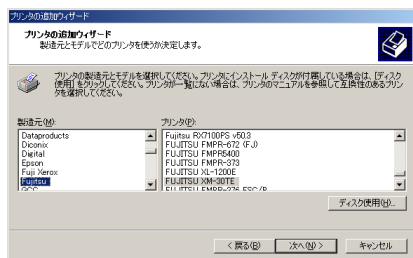
ガイド

- ・赤外線通信は、マイクロソフト社製赤外線通信デバイスドライバがインストールされた Windows Me、Windows 2000、Windows 98 プレインストールパソコンで使用できます。
- ・プリンタケーブル接続で Windows CE サービスを使用している場合、自動接続が有効な間はCOMポートが他の目的に使用できません。Windows CEサービスの[プロパティ]の[通信]タブの[自動接続]のオプション指定で、[モバイルデバイスのウィンドウが開いているときだけ有効]の設定にして、本プリンタ使用時はモバイルデバイスのウィンドウを閉じてください。

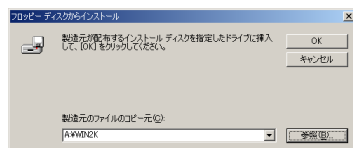
2

設置から印刷まで

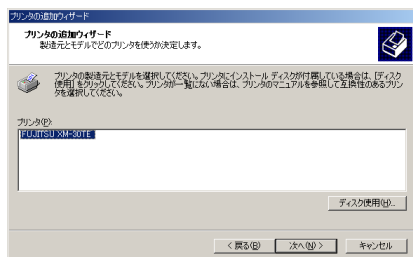
8 「ディスク使用」ボタンをクリックする



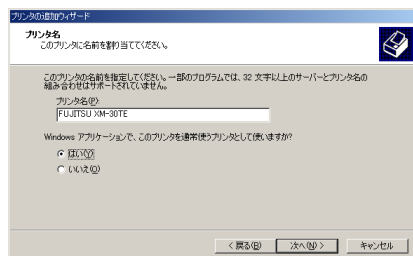
9 「A:¥WIN2K」と入力し、「OK」ボタンをクリックする



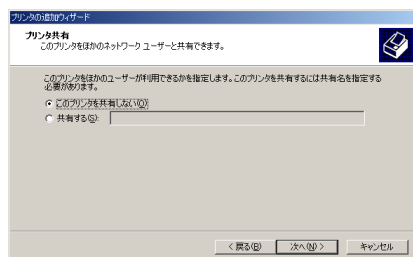
10 「FUJITSU XM-30TE」になっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする



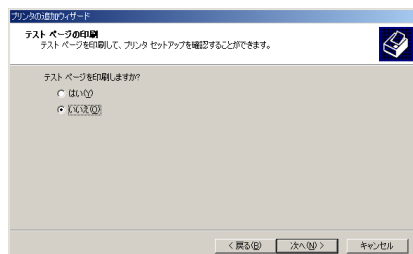
- 11 プリンタ名を確認し、「通常使うプリンタ」として設定する場合は「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする



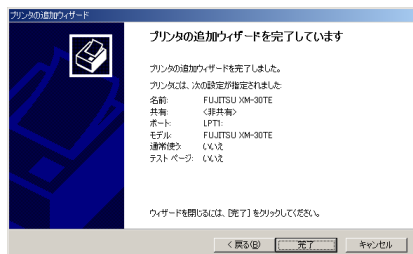
- 12 プリンタを共有するかどうかを設定し、「次へ」ボタンをクリックする



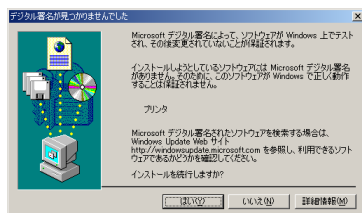
- 13 テストページを印刷するかどうかを設定し、「次へ」ボタンをクリックする



14 インストールの完了を知らせる画面が表示されたら、〔完了〕ボタンをクリックする



15 デジタル署名の画面が表示されたら、〔はい〕ボタンをクリックする

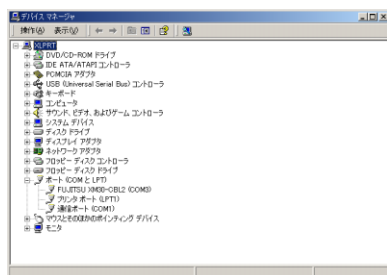


ファイルのコピーが開始されます。インストールが完了すると、[プリンタ]フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効となります。

16 XM30-CBL2をお使いの場合は、以下の設定が必要となります。

1) ポートの確認

[スタート][設定][コントロールパネル]の順に選択し、[コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックします。[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。[デバイスマネージャ]の「ポート(COMとLPT)」をクリックして「FUJITSU XM30-CBL2 Port(COM*:)」のポートを確認します。



2) ポートの設定

プリンタのプロパティの[ポート]タブで1)で確認した「COM*:」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。印刷先のポートを変更する方法については、86ページをご覧ください。

Windows CE の場合

使用可能なハンドヘルドPCのCPUの種類は、MIPSとSH3です。この種類によってインストールするドライバが異なりますので、インストールの前にハンドヘルドPCの取扱説明書などで確認してください。他のCPU、SH4やStrong Armなどでは動作しません。

2

設置から印刷まで

CPU の種類の確認

[スタート][設定][コントロールパネル]の順にアイコンをクリックした後、[システム]アイコンをダブルクリックして[システムのプロパティ]を表示します。

「Windows CE サービス」のインストール

パソコンからハンドヘルドPCにドライバをインストールするには、あらかじめパソコンに「Windows CE サービス」がインストールされている必要があります。Windows CE サービスがインストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1 ハンドヘルドPCに添付されている[デスクトップ ソフトウェア for Microsoft Windows CE]をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

[Windows CE サービスのセットアップ]ウィザードが自動的に起動します。

2 ウィザードの手順にしたがって操作する

Windows CE サービスのインストールとセットアップの詳細は、ハンドヘルドPCに添付されている「ハンドヘルドPC ユーザーズガイド」をご覧ください。

プリンタドライバのインストール

1 インストールプログラムをハンドヘルドPCにコピーする

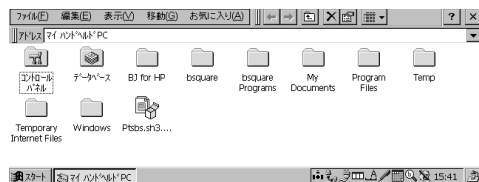
パソコンとハンドヘルドPCを接続し、次のファイルを[マイハンドヘルドPC]へコピーします。インストールプログラムはセットアップディスクの「DrvCE」のフォルダ内に格納されています。

MIPSの場合 : XM30TE.MIPS.CAB

SH3の場合 : XM30TE.SH3.CAB

2 インストールプログラムを実行する

ハンドヘルドPCで[マイハンドヘルドPC]を開いて、1でコピーしたインストールプログラムを2回タップします。



- ・[ファイルの同期]について問合せメッセージが表示された場合は[いいえ、ファイルのコピーだけです]を選択して[OK]をクリックしてください。
- ・[無効なコンバータの選択]についてメッセージが表示された場合は、そのまま[OK]をクリックし、ファイルを変換せずに転送してください。

3 インストールウィンドウが表示されたら、何も入力せずにそのまま[OK]をタップする



インストールが開始されます。

4 確認ダイアログで[OK]をタップする



インストールが完了します。

用紙をセットする

本プリンタは、サーマルロール紙（ロール紙）またはサーマル用紙A6（カット紙）に印刷することができます。ただし、ロール紙をセットした状態のままカット紙に印刷することはできません。カット紙に印刷するときは、必ずいったんロール紙を取りはずしてください。

印字品質の低下や印字ヘッドの摩耗を防ぐため、用紙は必ず指定用紙を使用してください。

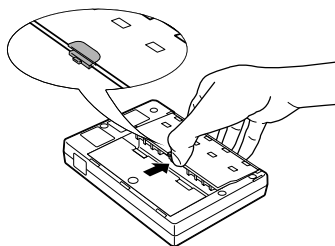
2

設置から印刷まで

▼ ロール紙をセットする

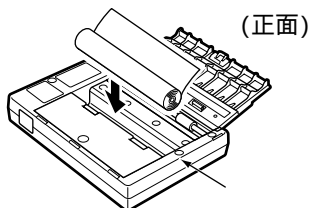
ロール紙をセット、交換するときは必ず電源を切ってから行ってください。

- 1 ペーパーカバーロックを押して、ペーパーカバーを開ける



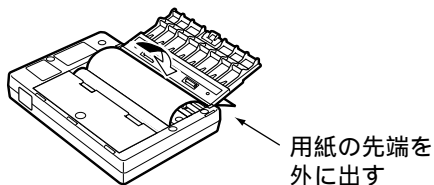
2 ロール紙先端のテープを取り、用紙の方向に注意してプリンタ内部にロール紙をセットする

外側の感熱面が上になるように、正面から見て左側につきあてて、ロール紙を入れます。



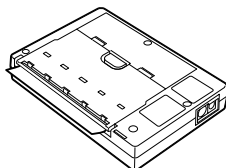
3 紙送りローラの先の隙間にロール紙を入れ、5mm 程度外に出す

ロール紙にテープののりが残ることがあります。この場合は、60mm 程度ロール紙を外に出してください。



4 ペーパーカバーを閉じる

印字ヘッド、用紙センサーには直接手や指がふれないようにしてください



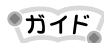
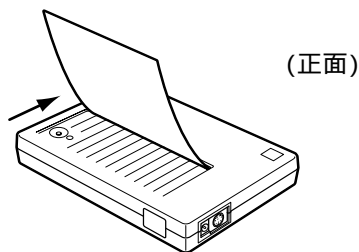
▼ カット紙をセットする

カット紙をセットするときは必ず電源を入れた状態で行ってください。

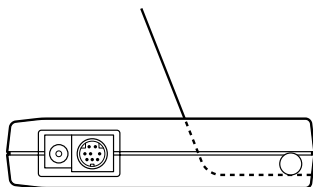
カット紙は1枚ずつしかセットできません。

- 1 白い感熱面を上にして、用紙挿入部から紙送りローラに突き当たるまでカット紙を差し込む

用紙は正面から見て、用紙挿入部の右側につきあてて、まっすぐに両手で差し込んでください。



ガイド カット紙を少し挿入すると、用紙先端がペーパーカバーにあたりますが、さらに奥の紙送りローラまで挿入します。



- 2 カット紙を奥まで差し込むと、用紙が自動吸入され、頭出しを行う

2

設置から印刷まで

印刷する

1 電源を入れる

本プリンタは印刷終了後3分(*)で自動的に電源がオフとなります。

印刷のときに電源が切れていたら、電源を入れてください。

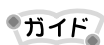
2 用紙をセットする

ロール紙またはカット紙をセットします。セットのしかたは47ページをご覧ください。

3 印刷を実行する

アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択し、必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックします

印刷の設定は次の手順で行います。



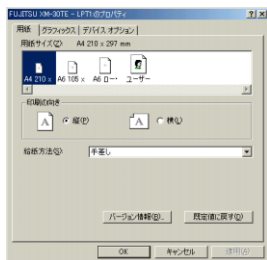
あらかじめ用紙がセットされていると、プリンタの電源を入れるたびに用紙が数mm送られます。このため、印刷するために電源を入れ、用紙をセットした後は、3分以内(*)に印刷を開始してください。

* ACアダプタ使用時は、60分間印刷が行われなかった場合に、自動的に電源が切断されます。

Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]または[プリンタの設定]を選択します。
[プロパティ]をクリックし、[FUJITSU XM-30TE]のダイアログボックスを開きます。

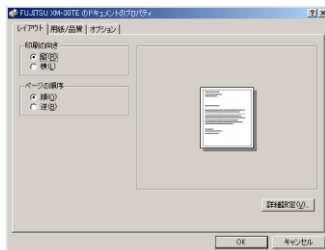
必要に応じて、各タブで印刷に関する設定を行います。設定の詳細は56ページをご覧ください。



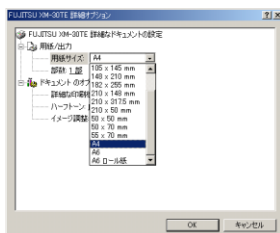
Windows 2000 の場合

アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]または[プリンタの設定]を選択します。
[プロパティ]をクリックし、[FUJITSU XM-30TE]のダイアログボックスを開きます。

必要に応じて、各タブで印刷に関する設定を行います。設定の詳細は57ページをご覧ください。



A4サイズのデータを[オプション]タブの「イメージ調整」を「100%等倍」にして印刷するときは、[詳細設定]ボタンをクリックして[FUJITSU XM-30TE 詳細オプション]を表示し、「用紙サイズ」のプルダウンメニューで用紙サイズをA6に設定してください。100%等倍で印刷する場合には、A6サイズを超えた部分は印刷されなかったり、複数ページに分割されて印刷されます。



Windows CE の場合

アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

必要に応じて、印刷に関する設定を行います。



印刷に関する設定

設定ダイアログを表示させる	54
ダイアログボックスの構成	56
設定内容の詳細	59

設定ダイアログを表示させる

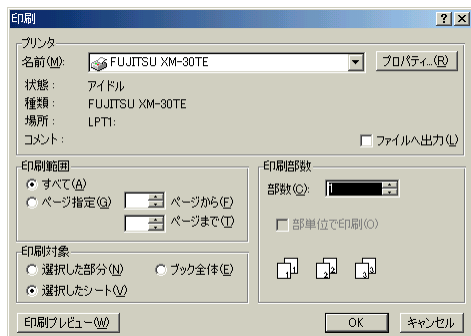
印刷する前に、印刷や印刷品質に関する設定をするためのダイアログを表示させます。

■ Windows の場合

設定は、[FUJITSU XM-30TE]ダイアログボックスで行うことができます。

[FUJITSU XM-30TE]ダイアログボックスは、次の操作で表示します。ご使用になるアプリケーションによってコマンドやボタンの名前が異なることがあります。

- 1 [印刷]または[プリンタの設定]を選択する
アプリケーションの[ファイル]メニューから、[印刷]または[プリンタの設定]を選択します。

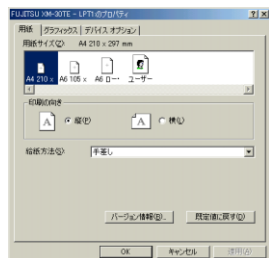


(*) 上記の画面はMicrosoft® Excel の場合の例です。ご使用のアプリケーションによって、多少画面が異なります。

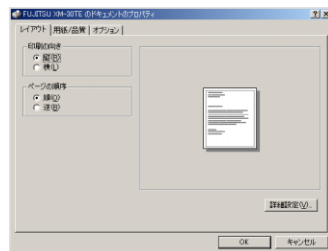
2 [FUJITSU XM-30TE]ダイアログボックスを開く

[プリンタ名]で[FUJITSU XM-30TE]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合



Windows 2000 の場合



Windows CE の場合

設定は、ご使用になるアプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで行うことができます。

アプリケーションの[ファイル]メニューから、[印刷]を選択すると、Windows CEの[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの構成

印刷の設定を行うダイアログボックスの構成は次のとおりです。

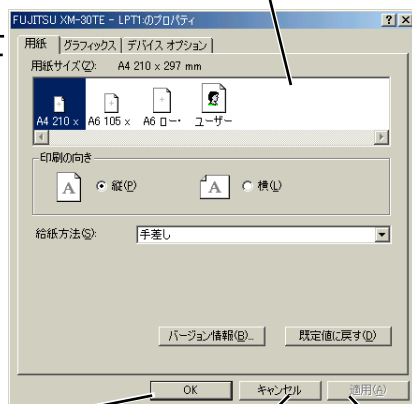
Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

3

印刷に関する設定

タブ
クリックして
メニューを開
きます。

メニュー
各メニューの内容を表示・設
定します。各メニューの詳細
は59ページ以降をご覧ください。



〔OK〕

設定の変更を保存し
て、ダイアログボ
ックスを閉じます。

〔キャンセル〕

設定の変更をすべて無効
にして、ダイアログボ
ックスを閉じます。

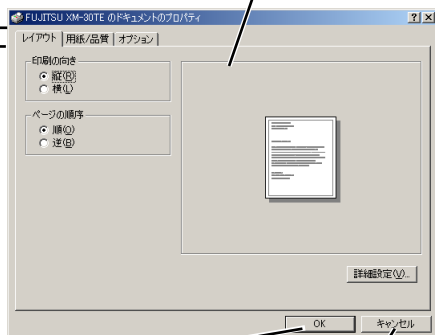
〔適用〕

各タブ単位で設定の
変更を保存します。
ダイアログボックス
は開いたままです。

Windows 2000 の場合

タブ
クリックしてメニューを開きます。

メニュー
各メニューの内容を表示・設定します。各メニューの詳細は63ページ以降をご覧ください。



〔OK〕
設定の変更を保存して、
ダイアログボックスを閉
じます。

〔キャンセル〕
設定の変更をすべて無効
にして、ダイアログボッ
クスを閉じます。

Windows CE の場合

[プリンタ]

プリンタを選択します。
[FUJITSU XM-30TE]を選択します。

[ポート]

ポートを選択します。
[赤外線]を選択します。

[印刷範囲]
設定できません。

[印刷の向き]
印刷の向きを設定します。印刷の向きによって余白の最小値が異なります。

[用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。
[A4]に設定します。(*1)



[余白]

余白を設定します。余白の最小値は印刷の向きの設定によって異なります。(*2)

(*1) [下書き印刷]をチェックせずに印刷するとA4からA6の倍率で縮小印刷を行い、[下書き印刷]をチェックすると等倍の大きさでA6印刷します。ただし、アプリケーションによってはA6印刷に対応していない場合がありますので、その場合は必ず[下書き印刷]のチェックをはずして縮小印刷を行ってください。

ガイド [レター]はサポートしていません。

(*2) [下書き印刷]チェックしない場合
(A4 → A6 の縮小印刷の場合)

- ・ [印刷の向き] が [縦] の場合 :
左 10、右 10、上 20、下 15
- ・ [印刷の向き] が [横] の場合 :
左 20、右 15、上 10、下 10
ただし、実際の余白は設定の 1/2 の値になります。

[下書き印刷]をチェックした場合

- ・ [印刷の向き] が [縦] の場合 :
左 5、右 5、上 10、下 8
- ・ [印刷の向き] が [横] の場合 :
左 10、右 8、上 5、下 5

設定内容の詳細

各メニューの関係と、設定内容の概要を説明します。

Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

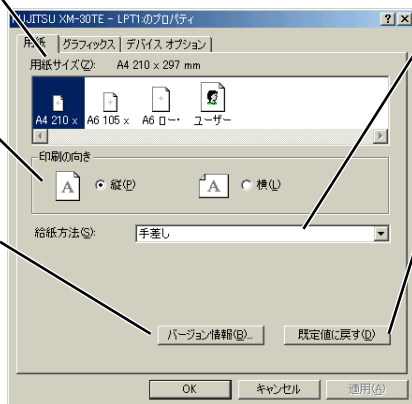
用紙サイズや給紙方法に関する設定をする ([用紙] タブメニュー)

用紙サイズ

一覧の中から、印刷するデータにあった用紙サイズを選択します。印刷倍率は、[デバイスオプション] タブで設定できます。詳しくは 62 ページをご覧ください。
各用紙の詳細と印刷可能領域については、「第6章 用紙について」(79 ページ)を参照してください(*1)。

印刷の向き
印刷する用紙の向きを指定します(*2)。

バージョン情報
版権やバージョンなど、プリンタドライバに関する情報を表示します。



給紙方法
手差しの設定になっています。変更はできません。

規定値に戻す
[用紙] タブメニューの設定を規定値に戻します(*3)。

3

印刷に関する設定

- (*1)「ユーザー定義」を選択すると、用紙の幅と長さを設定するダイアログボックスが表示されます。

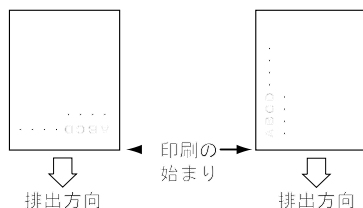
用紙の幅と長さは、次の範囲で設定します。

用紙の幅 : 500 ~ 2101 [0.1mm 単位]

用紙の長さ : 500 ~ 3175 [0.1mm 単位]

- (*2)「印刷方向」の「縦」と「横」は、それぞれ次のようになります。

縦(ポートレート) 横(ランドスケープ)



- (*3) 規定値は次のとおりです。

用紙サイズ : A4 210 × 297

印刷の向き : 縦

給紙方法 : 手差し

グラフィックスに関する設定をする ([グラフィックス]タブメニュー)

解像度 ———— 解像度(R) 400 x 400
400 × 400の設定になっています。変更はできません。

濃度 ———— 濃度 暗 明
現在の濃度 : 100
濃度を設定します。

ディザリング ———— ディザリング
ディザリングを選択します。
☐ なし(N)
☐ 粗く(G)
☒ 細かく(F)
☐ ラインアート(L)
☐ 誤差拡散法(E)

規定値に戻す ———— 既定値に戻す(D)
規定値に戻すグラフィックスの設定を規定値に戻します(*1)。

OK キャンセル 適用(A)

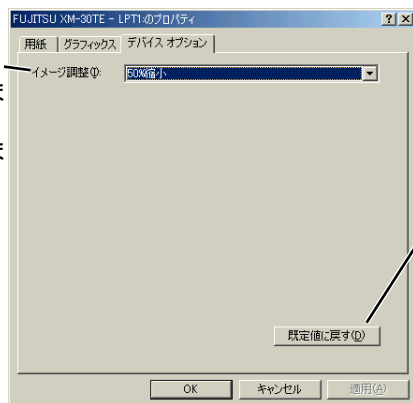
(*1) 規定値は次のとおりです。
 解像度 : 400 × 400
 ディザリング : 「細かく」
 濃度 : 100

3

印刷に関する設定

印刷倍率の設定をする ([デバイスオプション]タブメニュー)

イメージ調整
「50%縮小」または「100%等倍」を選択します。



規定値に戻す
デバイスオプションの設定を規定値に戻します(*1)。

用紙 A4 の場合： デバイスオプションを 50% 縮小にしてください。

出力結果は、A4サイズのデータを 50%縮小し A6 サイズになります。

100%等倍に設定しますと、A6サイズを超えた部分は印刷されなかったり、複数ページに分割されて印刷されます。

用紙 A6 の場合： デバイスオプションを 100% 等倍にしてください。

出力結果は、A6サイズのデータを A6 サイズで出力します。

用紙 A6 ロールの場合： デバイスオプションを 100% 等倍にしてください。出力結果は、A6ロールサイズのデータを A6 ロールサイズで出力します。

用紙ユーザーの場合： 指定された範囲で出力します。プリンタの印刷可能範囲を超えた部分は印刷されません。

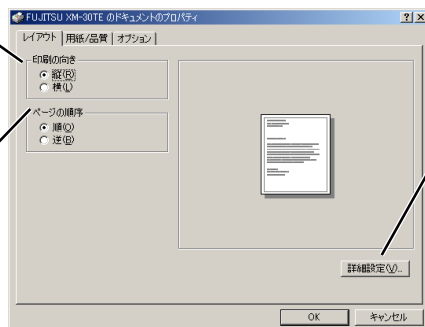
(*1)規定値は「50%縮小」です。

Windows 2000 の場合

レイアウトに関する設定をする ([レイアウト]タブメニュー)

印刷の向き
印刷する用
紙の向きを
指定します。

ページの
順序
印刷する順を
ページ順にす
るか、逆順に
するか指定し
ます。



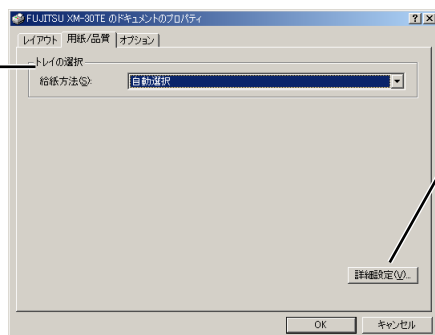
[詳細設定]
ボタン
詳細設定メニ
ューが表示さ
れます。(64
ページ参照)

3

印刷に関する設定

給紙方法に関する設定をする ([用紙 / 品質]タブメニュー)

給紙方法
印刷する給
紙口を指定
します。
この項目は
「自動選択」
でお使いい
ださい。



[詳細設定]
ボタン
詳細設定メニ
ューが表示さ
れます。(64
ページ参照)

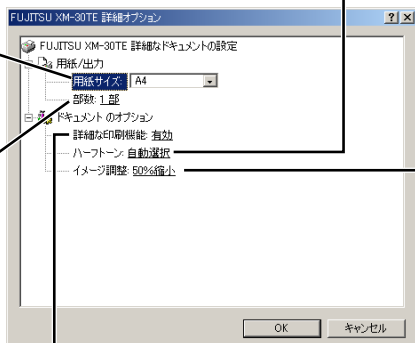
■ 詳細を設定をする (詳細設定メニュー)

ハーフトーン

ハーフトーンの種類を設定します。
プリンタによって最適な品質を決定
するには「自動選択」を選択します。

用紙サイズ
用紙サイズ
を選択しま
す。

部数
印刷部数を
設定します。



イメージ調整
「50%縮小」
または「100
%等倍」を選
択します。
詳細について
は、65ページ
を参照してく
ださい。

詳細な印刷機能

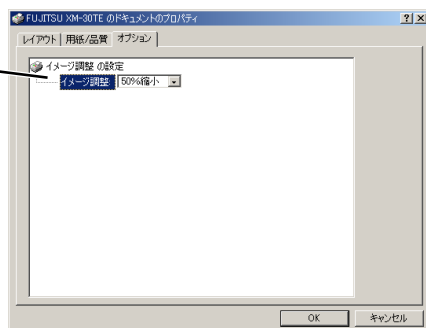
印刷機能の設定を有効にするかしない
かを設定します。

有効: 「ページの順序」および「部数」
の設定が有効になります。

無効: 「ページの順序」および「部数」
の設定が無効になります。

印刷倍率の設定をする ([オプション]タブメニュー)

イメージ調整
「50%縮小」または
「100%等倍」を
選択します。



用紙 A4 の場合： デバイスオプションを 50 % 縮小にしてください。

出力結果は、A4サイズのデータを50%縮小しA6サイズになります。

100%等倍で印刷する場合は、[レイアウト]タブメニューの[詳細設定]ボタンをクリックして、[FUJITSU XM-30TE 詳細オプション]を表示し、「用紙サイズ」のプルダウンメニューで用紙サイズをA6に設定してください。A6サイズを超えた部分は印刷されなかったり、複数ページに分割されて印刷されます。

用紙 A6 の場合： デバイスオプションを 100% 等倍にしてください。

出力結果は、A6サイズのデータをA6サイズで出力します。

用紙 A6 ロールの場合： デバイスオプションを 100% 等倍にしてください。出力結果は、A6ロールサイズのデータをA6ロールサイズで出力します。

用紙ユーザーの場合： 指定された範囲で出力します。プリンタの印刷可能範囲を超えた部分は印刷されません。

3

印刷に関する設定

印刷ジョブの表示と操作 (スプールマネージャ)

〔スプールマネージャ〕ウィンドウを表示させる ..	68
〔スプールマネージャ〕ウィンドウの構成	70
設定内容の詳細	71

〔スプールマネージャ〕ウィンドウを表示させる

本プリンタは、パソコン上でスプールされているジョブの順序や状態を調べたり、ジョブの取り消し(印刷中止)を行ったりすることができます。

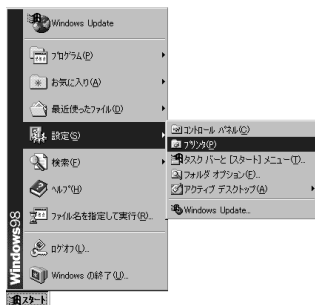
これらの操作は、〔スプールマネージャ〕ウィンドウから行います。

〔スプールマネージャ〕ウィンドウは、次の手順で表示します。

ハンドヘルド PC の場合はこの機能はありません。

- 1 〔スタート〕メニューから、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する。または、〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕をダブルクリックする

Windows 98 の場合



2 [FUJITSU XM-30TE]アイコンをダブルクリックする

Windows 98 の場合



ダブルクリック

4

印刷ジョブの表示と操作

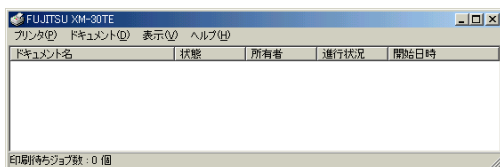
〔スプールマネージャ〕ウィンドウの構成

4

印刷ジョブの表示と操作

メニューバー

5つのプルダウンメニューがあります。各メニューについては、「設定の詳細」で説明します。



印刷中のジョブ情報

現在印刷中および印刷待ちの文書のリストを表示します。

・ドキュメント名

現在印刷中および印刷待ちのファイル名を表示します。

・状態

プリンタおよび印刷ジョブの状態を表示します。

・オーナー

印刷データを送信したユーザ名を表示します。

・進行状況

印刷中のジョブは何ページ目を印刷中か、または印刷待ちを表示します。スプール中のジョブは、スプールの完了したページ数を表示します。

・開始日時

印刷が実行された日付と時間を表示します。

設定内容の詳細

メニューごとに設定できる内容を説明します。

■ プリンタの一時停止や動作を制御する (〔プリンタ〕メニュー)

プリンタを一時停止状態にしたり、オフラインにしたりします。

お使いのパソコンによっては()中の表記になることがあります。



一時停止

「一時停止」の前にチェック(✓)が付くと、一時停止します。一時停止中は、プリンタ名の横に「停止中」と表示されます。プリンタを再開させるには、もう一度「一時停止」を選択してチェックを外します。

通常使うプリンタに設定

プリンタを「通常使うプリンタ」に設定するときは、チェック(✓)します。

プリンタをオフラインにする(オフライン作業)
プリンタをオフライン状態にします。「オフライン状態」にチェック(✓)が付いている間は、オフライン状態です。「オフライン状態」を再度クリックしてチェック(✓)を外すと、オンライン状態になります。オフライン状態のときに送った印刷データは、プリンタがオンライン状態になるまで保存されます。このコマンドは、プリンタのポートがネットワークパスへ設定されている場合に表示されます。これ以外のときは、「一時停止」コマンドを使用します。

印刷ドキュメントの削除(印刷ジョブのクリア)
印刷中および印刷待ちのすべてのジョブを削除します。削除したジョブは印刷されません。

プロパティ

〔FUJITSU XM-30TE〕ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスの詳細については、「第3章 印刷に関する設定」(53 ページ)を参照してください。

印刷データの一時停止や中止を指定する (〔ドキュメント〕メニュー)

〔ドキュメント〕メニューでは、印刷データを制御します。

〔ドキュメント〕メニューのコマンドは、印刷ジョブを選択した状態で使用します。

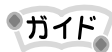


一時停止

印刷の一時停止を設定、解除します。「一時停止」をチェック(✓)している間は、一時停止状態です。再度「一時停止」をクリックしてチェックを外すと、一時停止は解除されます。

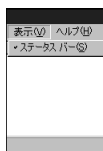
印刷中止

印刷ジョブをリストから削除します。確認のダイアログボックスは表示されないの、注意してください。



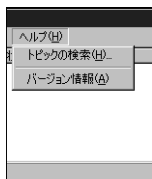
ガイド 印刷中に「印刷中止」を行う場合は、一度プリンタの電源を入れなおしてください。

ステータスバーの表示 / 非表示を指定する (〔表示〕メニュー)



〔表示〕メニューでは、〔プリンタ〕ウィンドウの下に表示されるステータスバーを表示するかしないかを設定します。「ステータスバー」にチェック(✓)が付いている間は表示します。

■ ヘルプやバージョン情報を表示する 〔ヘルプ〕メニュー)

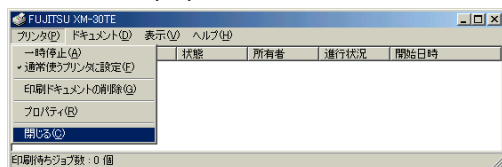


〔ヘルプ〕メニューには、Windows のヘルプとバージョン情報を表示させる 2 つのプルダウンメニューがあります。

■ スプールマネージャを終了する 〔プリンタ〕メニュー)

〔スプールマネージャ〕ウィンドウを終了するとき
は、次のいずれかの操作をします。

- ・〔プリンタ〕メニューで〔閉じる〕を選択する
- ・閉じるボタン(×)をクリックする



ガイド

印刷中および印刷待ちのジョブがある場合は、〔スプールマネージャ〕ウィンドウはいったんタスクバーに格納されます。すべての印刷が終わると、スプールマネージャは自動的に終了します。

4

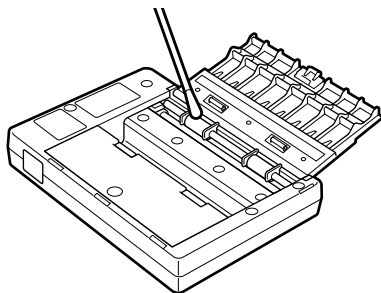
印刷ジョブの表示と操作

日常のお手入れ

プリンタ内部を清掃する	76
プリンタヘッドを拭く	77

プリンタ内部を清掃する

定期的に、ペーパーカバーをあけて、ローラ部等を綿棒などで清掃してください。



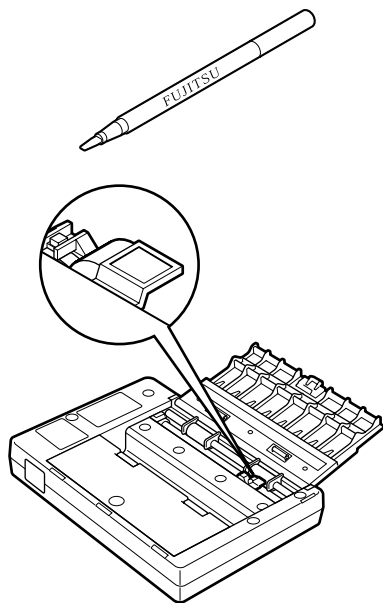
5

日常のお手入れ

プリンタヘッドを拭く

印字時に汚れがつくようになったらペーパーカバーを開けて、プリンタヘッド部を下記の専用クリーナで拭いてください。

品名 : オアシスライトヘッドクリーナ
商品番号 : 0631390



5

日常のお手入れ

- * ヘッド部はプリンタの電源を入れると自動的に出てきます。
- * 印字ヘッド、用紙センサーには直接手や指をふれないようにしてください。

5

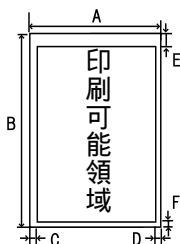
日常のお手入れ

用紙について

用紙仕様	80
使用できる用紙について	81

用紙仕様

用紙サイズと印刷可能領域



用紙サイズ	A=用紙幅	B=用紙長さ	マージン(余白)(単位:mm)			
			C	D	E	F
A6	105	148	5.0	5.0	10.0	5.0

このプリンタでは、感熱紙を使用します。感熱紙が変色したり、印字が薄くなったりする原因となりますので、ご使用にあたっては次の点にご注意ください。

- ・高温、多湿、直射日光は避けてください。
- ・揮発性有機溶剤を含んだのり、接着剤、接着テープやマーカなどはお使いにならないでください。
- ・塩化ビニールのフィルム等に接触させないでください。
- ・アンモニアには近づけないでください。
- ・印字面に手の汗や油、水分などをつけないようにしてください。

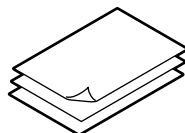
また、印刷した紙を長期間保存する場合は、複写機でコピーして保存されることをお奨めします。

使用できる用紙について

下記の専用紙のみ使用できます。

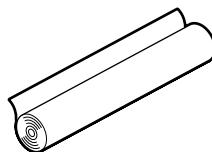
■ サーマル用紙 A6 (カット紙)

商品番号 0412680



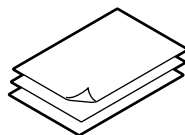
■ サーマルロール紙 (ロール紙)

商品番号 0412690



■ サーマルラベル用紙 A6 (ラベル紙)

商品番号 0412290



用紙のセットの手順については47ページをご覧ください。

6

用紙について

その他の操作

印刷先のポートを変更する	84
プリンタドライバの入手と削除	88

印刷先のポートを変更する

パソコンでは、プリンタをほかのポートに接続したり、印刷データをファイルに出力したりするときには、印刷先のポートを変更する必要があります。

■ Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

1 [プリンタ] フォルダを開く

[スタート]メニューから[設定]を選択し、[プリンタ]をクリックします。



2 [FUJITSU XM-30TE のプロパティ] ダイアログボックスを開く

[FUJITSU XM-30TE] アイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。または、[FUJITSU XM-30TE] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]を選択します。

3 「詳細」タブをクリックする



印刷先のポート
プリンタが接続されてい
るポート、またはネット
ワークプリンタのパスが
表示されます。
印刷先を変えるときには、
▼をクリックして一覧を
表示し、使用するポート
を選択します。

印刷に使用するドライバ
「FUJITSU XM-30TE」と
なっていることを確認し
てください。



7

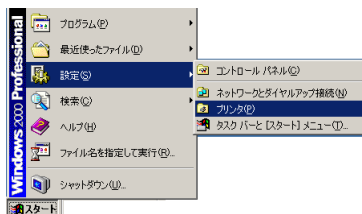
その他の操作

4 「印刷先のポート」で▼をクリックし、変更するポートを選択する

5 「OK」ボタンをクリックする

1 [プリンタ]フォルダを開く

[スタート]メニューから[設定]を選択し、[プリンタ]をクリックします。

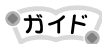
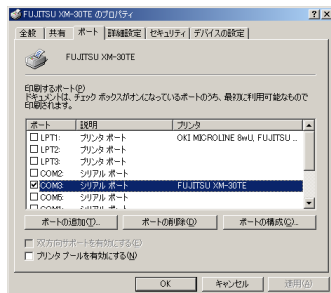


2 [FUJITSU XM-30TE のプロパティ] ダイアログボックスを開く

[FUJITSU XM-30TE] アイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。または、[FUJITSU XM-30TE] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]を選択します。

3 「ポート」タブをクリックする

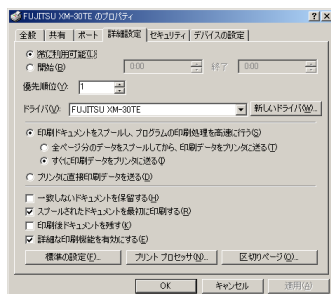
プリンタが接続されているポートをクリックして選択し、[OK] ボタンをクリックします。



ガイド 本プリンタが接続されているポートを確認する方法については、43 ページをご覧ください。

4 「詳細設定」タブをクリックする

「ドライバ」が「FUJITSU XM-30TE」となっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。



プリンタドライバの入手と削除

XM-30TE のドライバをバージョンアップしたり、インストールし直したりするときには、最新ドライバの入手(必要な場合)、削除、再インストールの順で作業してください。

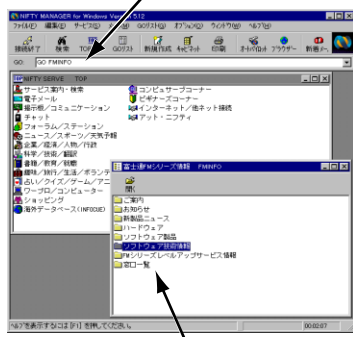
最新のプリンタドライバを入手する

FUJITSU XM-30TE プリンタドライバの最新版は、@NIFTYの「富士通FMシリーズ情報」、またはインターネットの「FM WORLD」からダウンロードすることができます。

@NIFTY

@NIFTYにアクセスし、「GO FMINFO」と入力します。「ソフトウェア技術情報」-「プログラム」を選択し、プリンタドライバのリストから必要なファイルをダウンロードしてください。

1. 「GO FMINFO」と入力

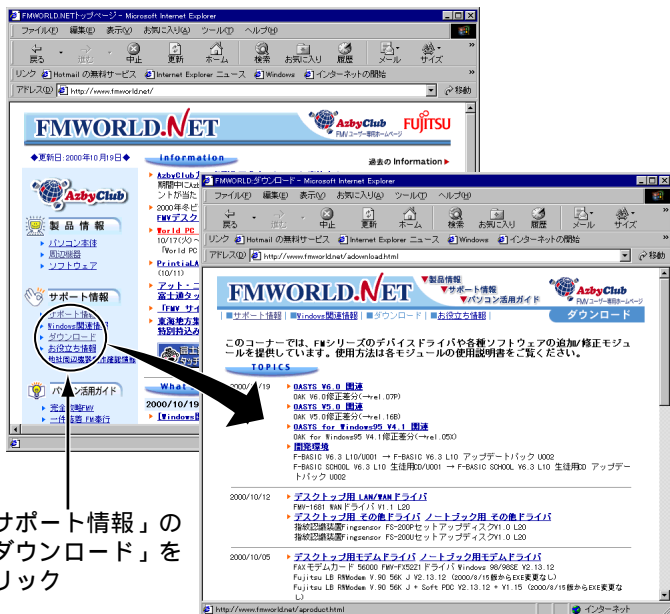


2. 「ソフトウェア技術情報」を選択
3. 「プログラム」を選択

(2000年10月現在)

インターネット

http://www.fmworld.net/



「サポート情報」の
「ダウンロード」を
クリック

(2000年10月現在)

「サポート情報」の「ダウンロード」をクリックし、
ドライバ関連のプリンタドライバのリストから必
要なファイルをダウンロードします。

7

その他の操作

XM30-CBL2 ドライバを削除する

本プリンタを正しくご利用いただくために、プリンタドライバをインストールし直したり、バージョンアップしたりする場合には、プリンタドライバだけでなく XM30-CBL2 ドライバも削除してください。ただし、XM30-CBL2 ドライバをインストールしていない場合は、この手順は必要ありません。

- 1 [スタート]メニューから [ファイル名を指定]をクリックする



- 2 XM30-CBL2セットアップディスクをセットし、OSによって以下を入力し、[OK]ボタンをクリックする

XM30-CBL2ドライバのアンインストールプログラムが起動します。

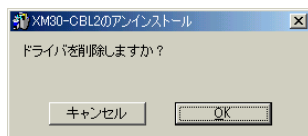
Windows Me/Windows 98 の場合

A:¥WIN98_¥uninstall.exe

Windows 2000 の場合

A:¥WIN2K¥uninstall.exe

3 以降は画面の指示に従って、XM30-CBL2ドライバを削除する



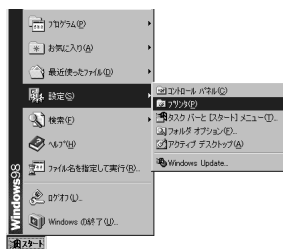
▼ プリンタドライバを削除する

本プリンタを正しくご利用いただくために、プリンタドライバをインストールし直したり、バージョンアップしたりする場合には、まずプリンタドライバを削除してください。

■ Windows Me/Windows 98/Windows 95 の場合

1 [プリンタ]フォルダを開く

[スタート]メニューから [設定]を選択し、[プリンタ]をクリックする。

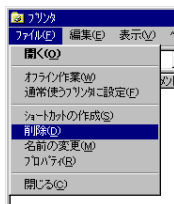


7

その他の操作

2 [FUJITSU XM-30TE]を削除する

プリンタ画面から[FUJITSU XM-30TE]を選択した状態で、[ファイル]メニューから[削除]をクリックします。

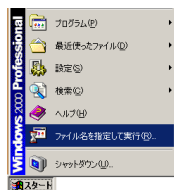


3 削除を実行する

削除を行うかどうかの確認ダイアログボックスが表示されたら[はい]ボタンをクリックします。

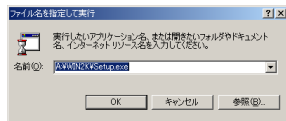
■ Windows 2000 の場合

1 [スタート]メニューから[ファイル名を指定]をクリックする

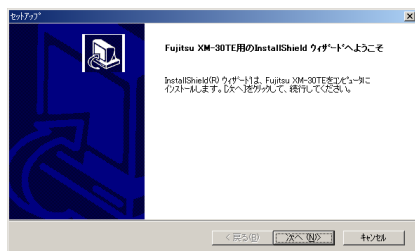


- 2 XM-30TE セットアップディスクをセットし、以下を入力し、[OK] ボタンをクリックする

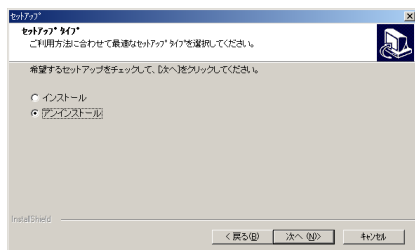
A:¥WIN2K¥setup.exe



- 3 セットアップ画面が起動したら「次へ」ボタンをクリックする



- 4 「アンインストール」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする



削除が実行されます。

- 1 [スタート]メニューから [設定]を選択し、[コントロールパネル]をタップする
- 2 [コントロールパネル]で[アプリケーションの削除]を2回タップし、[アプリケーションの削除のプロパティ]を開く
- 3 [FUJITSU XM-30TE]を選択し、[削除]ボタンをタップする
- 4 削除を実行する
削除を行うかどうかの確認ダイアログボックスが表示されたら[はい]を選択します。

再インストール

XM30-CBL2 ドライバ、プリンタドライバの再インストールはインストールと同じ手順で行ってください。「XM30-CBL2 ドライバをインストールする」(22 ページ)、「プリンタドライバをインストールする」(30 ページ)を参照)

オプション

AC アダプタ	96
プリンタ USB ケーブル	97
プリンタケーブル	98

AC アダプタ

品名 AC アダプタ

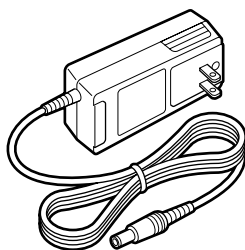
型名 XM30-AC1

仕様 入力電圧 AC100V 50/60Hz

出力電圧 DC9V

出力電流 1.4A

DC 側ケーブル長 1.8m



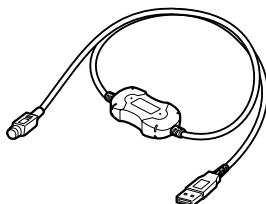
プリンタ USB ケーブル

品名 プリンタ USB ケーブル

型名 XM30-CBL2

仕様 USB - ミニ DIN8 ピン

長さ 1m



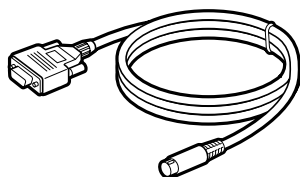
- * このケーブルは、本プリンタに添付されているものと同じケーブルです。
- * Windows Me、Windows 2000、Windows 98 がインストールされていて、USB ポートが搭載されているパソコンと接続するときに使用します。

プリンタケーブル

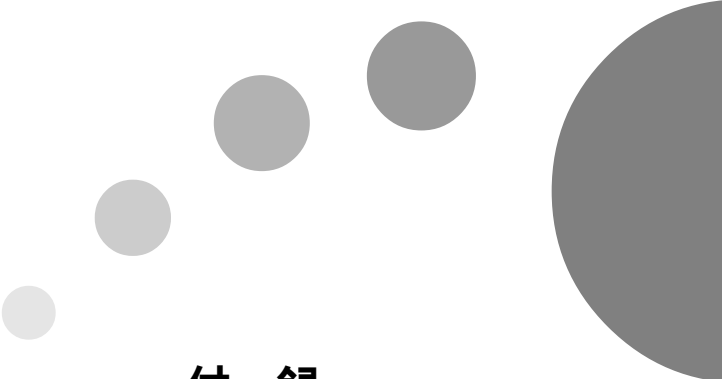
品名 プリンタケーブル

型名 XM30-CBL3

仕様 Dsub9 ピン - ミニ DIN8 ピン
長さ 1.8m



* Windows 2000、Windows 98、Windows 95 がインストールされていて、シリアルポートが搭載されているパソコンと接続するときに使用します。



付 録

装置仕様	100
メッセージについて	102
サプライ品 / オプション品を注文する	105
アフターサービス	106

装置仕様

本体仕様

印刷方式	シリアルサーマル方式
外形寸法	奥行き 109mm、幅 150mm、 高さ 25.4mm
重量	約 380g (電池含む)
使用環境条件	動作保証温度 : 5 ~ 35 (15 ~ 35 を推奨) 保存温度 : 0 ~ 50 動作時湿度 : 30 ~ 80%RH 保存時湿度 : 30 ~ 80%RH
解像度	400dpi × 400dpi
印字総ドット	1500 ドット / 行
印字速度	約 2 枚 / 分 (データ受信時間は含まない)
フォント	なし
用紙種類	(1) 用紙幅 : 105mm (2) 用紙種 : 感熱紙 (カット紙、ロール紙)
インタフェース	(1) 光通信インタフェース : IrDA1.0 準拠 (2 次局の機能に限定) 通信速度(bps) : 2400、9600、19.2 k、38.4 k、57.6 k、115.2 k 通信可能距離 : 30cm 以内 指向性 : 光軸に対して 約 ± 15 度 (2) シリアルインタフェース : RS232C 準拠 転送速度 : 115.2kbps データ長 : 8 ビット ストップビット : 1or2 ビット パリティ : なし フロー制御 : ハードウェア

電源	アルカリ電池、ニカド電池、ニッケル水素電池いずれも単3サイズ4本
消費電力	15W
稼動音	55dB (A) 以下

■ ケーブル仕様

ケーブル長	1m
重量	108g
電源・消費電力	DC5V 最大 24mA * パソコンまたはハブより電源を供給
USB コネクタ	コネクタ : USB プラグコネクタ シリーズ A 転送モード: インタラプト転送 およびバルク転送

メッセージについて

[Windows の場合]

メ ッ セ ー ジ	内 容 ・ 対 処
用紙幅の値が正しい範囲内にありません	用紙幅の値を正しい範囲に設定してください。
用紙の長さの値が正しい範囲内にありません	用紙の長さの値を正しい範囲に設定してください。
COM* : への書込みエラー、プリンタ (FUJITSU XM-30TE)	プリンタの準備ができていません。電源が入ってオンラインになっているか確認してください。 - 一度印刷を「キャンセル」して印刷ジョブを削除してから、プリンタの電源、ケーブル接続、赤外線通信ポートが正しく相手の赤外線通信ポートに向き合っているか確認し、もう一度印刷をやり直してください。 プリンタタイムアウトエラーが発生しました。プリンタのタイムアウト設定を長くするには、プリンタフォルダを開いてプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選んでください。 - カット紙の場合、紙をセットして「再試行」を行ってください。ただし、再試行する前にプリンタ電源がオフになった場合は一度印刷を「キャンセル」してもう一度印刷をやり直してください。 - ロール紙の場合、電源をオフにしてロール紙を装着後、印刷を「キャンセル」して、印刷が失敗したところからもう一度やり直してください。

メッセージ	内容・対処
COM* : への書込みエラー、プリンタ (FUJITSU XM-30TE)	プリンタにドキュメントを送信中にエラーが発生しました。 プリンタケーブルが接続されているか、プリンタがオンラインになっているか確認してください。 ・プリンタケーブルが正しく接続されているか、赤外線通信ポートが正しく相手の赤外線通信ポートに向いているか確認してください。

[Windows 2000 の場合]

メッセージ	内容・対処
COM* への出力エラー	印刷中に一瞬本メッセージが表示される場合がありますが、印刷のエラーではありません。しばらくすると印刷が再開されます。

〔ハンドヘルドPCの場合〕

メッセージ	内容・対処
印刷できません	プリンタが見つからないか使用不可能です。 ・プリンタ電源が入っているか、赤外線通信ポートが正しく相手の赤外線通信ポートに向き合っているか確認してから、もう一度印刷をやり直してください。
COM*：への書込みエラー、プリンタ(FUJITSU XM-30TE)	ポートにアクセスできません。ほかのアプリケーションが使っているかもしれません。ほかのアプリケーションを終了して、もう一度印刷してください。 ・Windows CE サービス等のアプリケーションによりCOM*ポートが使用されています。Windows CE サービスの場合は〔モバイルデバイス〕アイコンをダブルクリックして「ファイル」の「通信(U)」メニューをクリックしたあと〔通信〕タブの〔自動継続〕をクリックして、「モバイルデバイスのウィンドウが開いているときだけ有効」の設定にした上で、モバイルデバイスを終了させてください。 ・他のアプリケーションの場合は、そのアプリケーションの取扱説明書に従って終了させてください。

サプライ品/オプション品を注文する

印刷品質を保持するために、下表に示すサプライ品 / オプション品をお使いください。

サプライ品およびオプション品については本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

■ サプライ品

商品名(仕様)	商品番号	内容
サーマル用紙 A 6	0412680	専用 A6 紙・100 枚 / 冊
サーマルラベル用紙 A 6	0412290	専用ラベル紙・30 枚 / 冊
サーマルロール紙	0412690	専用ロール紙・2.5m / 巻, 6 巻
オアシスライトヘッドクリーナ	0631390	1 本

■ オプション品

商品名(仕様)	商品番号	内容
AC アダプタ	XM30-AC3	DC9V, 1.4A
プリンタ USB ケーブル (*)	XM30-CBL2	USB - ミニ DIN 8 ピン 1 本
プリンタケーブル	XM30-CBL3	Dsub 9 ピン - ミニ DIN 8 ピン 1 本

* このケーブルは、本プリンタに添付されている
ものと同じケーブルです。

アフターサービス

お買い求めの際、販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。

保証書は日本国内のみで有効です。

無償保証期間はお買い上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。

保守部品供給期間は製造中止後6年です。ご了承ください。

分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。

プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。推奨品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

操作、機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店、または添付の修理・サービス網一覧表をご覧ください。適切な窓口へお問い合わせください。

なお、お問い合わせの前に、次ページの内容をご確認ください。

お問い合わせの前に

製品に関するご相談・ご質問の際は、以下の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。

これらの情報は、お客様にすみやかに回答するための貴重な資料となります。

接続しているパソコンの機種名: メーカー名()
: 機種名()

使用している OS の種類 : ☐ Windows Me ☐ Windows 2000
 ☐ Windows 98 ☐ Windows 95
 ☐ Windows CE2.0 ☐ その他
 ☐ Windows CE, H/PC Pro, V3.0

内蔵メモリ容量 : MB

ハードディスク容量 : MB

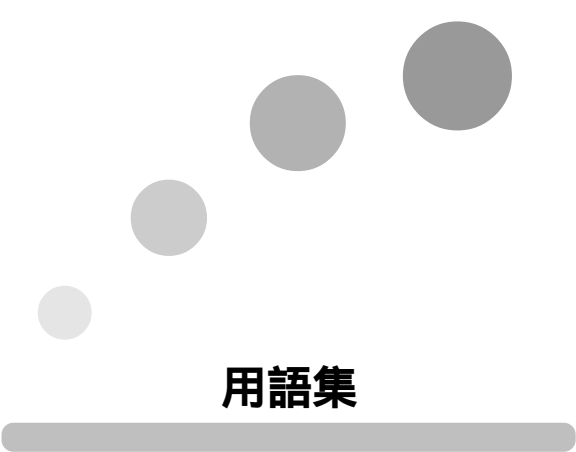
プリンタソフトウェアのバージョン :

アプリケーションおよびバージョン :

印刷時の設定 :

接続方法 : ☐ 赤外線通信
 ☐ プリンタケーブル
 ☐ プリンタ USB ケーブル

エラーメッセージまたはお問い合わせ内容



用語集

USB

Universal Serial Busの略で、パソコンと周辺機器を接続するためのインタフェース規格です。パソコンの電源を入れたまま接続できる、多数の周辺機器を同時に接続できるなどの利点があります。

アイコン

画面上に表示される小さな絵、またはシンボルのことです。アイコンをクリックしたり、ドラッグしたりして、プログラムやコマンド、ファイルなどのオブジェクトを簡単に利用することができます。

アプリケーションソフトウェア

パソコン上で使用するように設計された、表計算ソフトやワープロなどのソフトウェア製品のことです。

インストール

ソフトウェアをパソコンに組み込むことです。パソコンとプリンタをケーブルでつないで電源を入れただけでは、印刷はできません。必ずプリンタドライバをインストールしてください。プリンタUSBケーブルを使用する場合は、ケーブルのドライバも必ずインストールしてください。

キロバイト (KB)

記憶容量の測定単位です。1 キロバイトは1024 バイトです。

関連項目：バイト、メガバイト

スプールマネージャ

印刷中および印刷待ちの文書に対して、印刷を一時停止したり、印刷終了後も印刷データを保存して再印刷したりする機能(ソフトウェア)です。

ドライバ

パソコンに接続される周辺機器を管理するプログラムのことです。

関連項目：プリンタドライバ

ハーフトーン処理

グラフィックイメージを、一定のドットパターンに変換する処理のことです。ドットの大きさや密度などを変化させることによって、グラフィックイメージの持つ中間色やグレーの中間色を表現することができます。

バイト (byte)

1バイトは、8ビットから構成される単位です。半角1文字は、1バイトに相当します。

関連項目：キロバイト、メガバイト

ビット

パソコンのデータを構成する最小の単位です。1ビットは、0と1の2種類の状態を表すことができます。

プリンタドライバ

周辺機器を制御するデバイスドライバのひとつです。パソコンとプリンタとの間でデータをやりとりできるように、ソフトウェアアプリケーションの言語をプリンタの言語に翻訳します。

接続しているプリンタの情報をパソコンに伝えたり、印刷するデータをパソコンからプリンタへ送る役割をしています。

プリンタの設定

本プリンタソフトウェアは最適な印刷結果が得られるように初期設定されていますが、詳細設定や設定変更を行うために、各種のプリンタ設定オプションを用意しています。用紙や印刷品質などの印刷条件の設定は、〔FUJITSU XM-30TE〕ダイアログボックスで変更できます。

メガバイト (MB)

記憶容量の測定単位です。1メガバイトは、1,024キロバイト、1,048,576バイトです。

関連項目：バイト、キロバイト

Windows CE サービス

パソコン上のプログラムで、ハンドヘルド PC とパソコン間のデータやファイルの同期、転送、管理を行います。Windows CE サービスは、[モバイルデバイス]フォルダをダブルクリックして起動させます。

スタイラス

ハンドヘルド PC のタッチパネルで、入力を行うペン型のポインティングデバイスです。

赤外線 (Ir) 接続

双方の赤外線ポートを使ってハンドヘルド PC とほかのデバイス (パソコン、プリンタなど) を接続するときの通信方法です。

タップ

ハンドヘルド PC の画面をスタイラスでタッチする操作のことです。マウスのクリックに相当します。

困ったときは

本プリンタのご使用に際して、何か困ったことが起きた場合は、次ページ以降の内容をお調べください。お客さまからお問い合わせの多い事柄や印刷時のトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。

問題が解決できない場合は、お買い求めの販売店または修理・サービス網一覧表をご覧ください。適切な窓口へお問い合わせください。

お問い合わせの多いご質問	116
インストール時のトラブル	117
印刷が行われない	118
印刷速度が遅い	121
用紙に関するトラブル	123
印刷結果がおかしい	125
印刷品質が良くない	125
エラーが発生した	127

お問い合わせの多いご質問

■ 対応するパソコンは？

Windows Me、Windows 2000、Windows 98 または Windows 95が動作するPC/AT互換機またはNEC PC98-NX シリーズのパソコンまたはWindows CE が動作するハンドヘルドPCです。

ただし、Windows 95 で使用するには別途プリンタケーブル(XM30-CBL3)のご購入が必要です。

■ 対応する OS は？

Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版、Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® CE operating system for Handheld PC devices Version 2.0日本語版、Microsoft® Windows® CE Handheld PC Professional Edition version3.0 日本語版です。

インストール時のトラブル

■ ファイルが見つからないと表示される

正しいフロッピーディスクドライブを指定していますか？

〔ディスク使用〕ボタンをクリックしたときなどドライバのインストール中にフロッピーディスクドライブを指定する場合があります。セットしたフロッピーディスクドライブの指定が正しいか確認してください。Aドライブにセットしているときは、「A:」と指定します。

セットしているフロッピーディスクは正しいですか？

XM30-TEセットアップディスク、XM30-CBL2セットアップディスク以外のフロッピーディスクをセットしていないか確認してください。

■ 「プリンタドライバをインストールしませんでした。操作を完了できませんでした。」と表示される

XM-30TE プリンタドライバのインストール方法は正しいですか？

Windows 2000 の場合、XM-30TE プリンタドライバはXM-30TE セットアップディスク内の「setup.exe」を実行して、インストールしてください。

印刷が行われない

■ 印刷が開始されない

電気は供給されていますか？

電源ケーブルを差し込んだコンセントに電気が供給されているか確認してください。

電源は入っていますか？

電池が正しくセットされているか、または消耗していないかを確認してください。

または、電源コードがプリンタにきちんと接続されているか確認してください。

正しく接続されていますか？

赤外線ポートが正しく向かい合っているか、またはプリンタ USB ケーブル(またはプリンタケーブル)の接続を確認してください。

スプールマネージャでプリンタが一時停止になっていませんか？

スプールマネージャで「停止中」などの表示がされていないか確認してください。(「第4章 印刷ジョブの表示と操作」(67 ページ)を参照)

ハンドヘルドPCとパソコン間のケーブルを外していますか？

ハンドヘルドPCとパソコンをケーブル接続した状態では、ハンドヘルドPCから印刷はできません。ケーブルを外して印刷を行ってください。

COM ポートが内蔵モデムに割り当てられていませんか？

お使いのパソコンによってはCOMポートが内蔵モデムに割り当てられ、シリアルポートまたは赤外線通信ポートが使用できません。

お使いのパソコンの取扱説明書に従ってシリアルポートまたは赤外線通信ポートが使えるようにBIOS等の設定を変更してください。

他のプリンタドライバがポートを専有していませんか？

他のプリンタドライバがインストールされている場合、プリンタドライバによってはポートを専有してしまいます。他のプリンタドライバを削除してみてください。

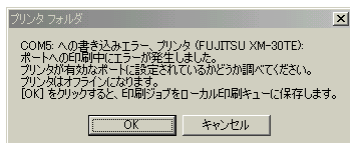
パソコン側は正常終了するが印字が行えない

フロー制御がXon/Xoffに設定されている場合、エラーメッセージは出ず、パソコン側は正常に終了したように見えますが実際には印字できません。

フロー制御を「ハードウェア」としてください。

COMを選択しているのに印字が行えない

以下のメッセージが表示される場合は、すべてのアプリケーションを終了し、Windowsを再起動してください。



他のプリンタへ印刷できない

本プリンタの接続先をFILEにするか、削除してください。プリンタドライバの接続先を変更するには、「印刷先のポートを変更する」(84ページ)を参照してください。

Windows Me/Windows98
/Windows 95 の場合



Windows 2000 の場合



印刷速度が遅い

COM ポートの通信速度が 115.2kbps になっていますか？

シリアルポートまたは赤外線通信ポートの通信速度を 115.2kbps に設定してください。

シリアルポートの場合はプリンタの「プロパティ」の「詳細」タブの「ポートの設定」で設定してください。

赤外線通信の場合は、赤外線モニターの「オプション」タブで設定してください。

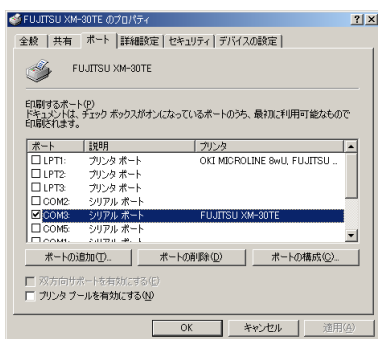
接続ポートの設定は正しいですか？

プリンタドライバの接続ポートが、プリンタが接続されているポートに正しく設定されているか確認してください。(「印刷先のポートを変更する」(84 ページ)を参照)

Windows Me/Windows98
/Windows 95 の場合



Windows 2000 の場合



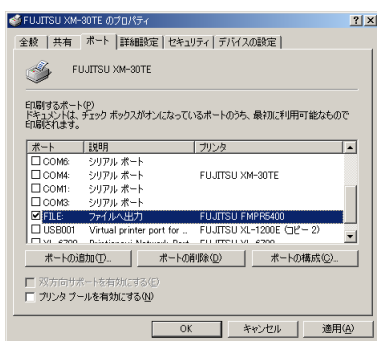
同じポートに他のプリンタドライバがインストール されていませんか？

FUJITSU XM-30TE 以外のプリンタドライバを FILE
にするか、削除します。(「印刷先のポートを変更す
る」(84 ページ)を参照)

Windows Me/Windows98
/Windows 95 の場合



Windows 2000 の場合



Windows 2000 の IrDA 通信ですか？

Windows 2000 の IrDA 通信の場合、印刷中にパソ
コンとプリンタの通信に時間がかかることがあり
ますが、プリンタの異常ではありません。しばら
くすると、印刷が再開されます。

用紙に関するトラブル

■ 用紙を引き込まない

用紙はきちんとセットされていますか？

用紙を押し込み過ぎたり、用紙が浮いていたりしないか確認してください。

ローラが汚れていませんか？

ローラが汚れると、用紙がうまく引き込まれなくなります。定期的にローラを清掃してください。
(「第5章 日常のお手入れ」(75 ページ)を参照)

用紙に折れや反りはありませんか？

用紙の先端が折れていたり、用紙が反っていたりすると用紙が正しく吸入されなくなります。用紙の上下を変えてください。それでもうまく吸入されない場合は、折れなどのない新しい用紙を使用してください。



一度印刷した用紙を使っていませんか？

一度印刷した用紙を再度使用すると、正しく給紙されないことがあります。また、装置内部が汚れる原因になりますので、このような用紙は使用しないでください。

■ 紙づまりが発生する

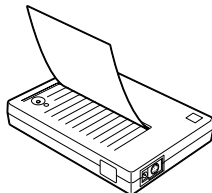
使用できない用紙を使っていませんか？

ホッチキスのついた用紙を使用すると紙づまりの原因となります。「使用できる用紙について」(81 ページ)を参照して、使用できない用紙をセットしていないか確認してください。

■ 手差し給紙時に用紙がうまく引き込まれない

用紙は正しくセットされていますか？

給紙方法を「手差し給紙」にして印刷するときは、紙がローラにとどくまで正しくセットしてください。



プリンタ内に用紙や異物が残っていませんか？

ペーパーカバーを開き、内部を確認してください。

■ 排紙された用紙の裏が汚れる 用紙がくっつく

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタ内部を清掃します。 (「第5章 日常のお手入れ」(75 ページ)を参照)

印刷結果がおかしい 印刷品質が良くない

余白設定は正しいですか？

ご使用のアプリケーションで余白を設定できる場合は、設定している余白の値を確認してください。

富士通指定の用紙を使っていますか？

純正のサプライ品以外は使用できません。
(「サプライ品 / オプション品を注文する」(105ページ)を参照)

用紙が汚れていませんか？

印刷面に汚れがあると、印刷品質が低下します。

■ 印刷結果がディスプレイ表示と異なる (網掛けがずれる、色が合わない)

本体プリンタはカラー印刷はできません

カラーのデータは中間調に変換されます。ただし、アプリケーションによってはカラーのデータでも中間調に変換されず、白か黒で印刷されます。

■ 用紙の下端の印刷が乱れる

データが印刷保証領域を超えて作成されていませんか？

印刷保証領域を超えた部分のデータについては保証できません。アプリケーション側で印刷保証領域内にデータが収まるように調整してください。
(「用紙仕様」(80 ページ)を参照)

■ 紙に印刷がされない

用紙を表と裏を逆にセットしていませんか？

カット紙の場合は白い方を上にしてセットしてください。

ロール紙の場合、白い方（外側）を下にして印字ヘッドに当たるようにセットしてください。

■ ゴミが印刷される

印刷中に [スプールマネージャ] から印刷中止を行いませんでしたか？

印刷中に「印刷中止」を行う場合は、一度プリンタの電源を入れ直してください。

印刷中にロール紙を交換しませんでしたか？

印刷中にロール紙を交換する場合は、電源をオフにし、印刷を「キャンセル」して、印刷が失敗したところからもう一度やり直してください。

エラーが発生した

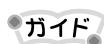
■ 『COM*:への書き込みエラー』が発生した

プリンタケーブルは正しく接続されていますか？

プリンタケーブルの接続を確認してください。

赤外線ポートが正しく向かい合っていますか？

ポートの位置を確認してください。



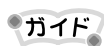
ガイド

印刷を続行する場合は、上記事項を確認し、画面上の〔続行〕ボタンをクリックします。

再度、「プリンタエラー」となる場合は、いったん電源コードを抜き数秒してから差し込んでください。

プリンタ内に用紙や異物が残っていませんか？

ペーパーカバーを開き、内部を確認してください。



ガイド

印刷を続行する場合は、用紙を正しくセットし、画面上の〔続行〕ボタンをクリックします。

プリンタポートが使用不可になっていませんか？

Windows のシステムを調べてプリンタポート（お使いのシリアルポートまたは赤外線通信ポート）が正しく動作しているか確認してください。異常がある場合は、パソコンの製造元へお問い合わせください。

プリンタポートを占有するアプリケーションを起動していたり、他のプリンタドライバがポートを占有したりしていませんか？

該当するアプリケーションを終了してください。または、他のプリンタドライバの動作を終了してください。



ガイド

紙づまりでエラーになった場合は、紙づまりのおきた次のページから印刷が再開されます。

■ **印刷を起動したアプリケーション固有のエラーメッセージが出る**

余白の設定をやり直すか、印刷オプション等の指定で「プリンタドライバの指定に従う」を指定してください。

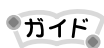
■ **赤外線通信が中断された**

「* 秒以内に配置し直すか、障害をとり除いてください。」のメッセージが表示される。

赤外線通信ポートを正しく相手に向けるか、電池が消耗しているときは電池を交換してください。

用紙はきちんとセットされていますか？

用紙が正しくセットされていないと、給紙がうまくいきません。用紙を正しくセットし直してください。（「用紙をセットする」(47 ページ)を参照）



ガイド

・印刷を続行する場合は、用紙を正しくセットし、画面上の〔続行〕ボタンをクリックします。

『メモリ不足』と表示され印刷できない

印刷に必要なメモリが不足していませんか？

写真など色数を多く使用しているデータを印刷するためには、印刷用にメモリの空きがたくさん必要になります。印刷に関係ない他のアプリケーションを終了したり、印刷データサイズを減らしたりしてください。

次のような方法で、印刷データを小さくすることができます。

- ・ ページ数が多い場合は、分割する
- ・ 解像度を下げる
- ・ 色数を減らす

索引

A
AC アダプタ 96

D
DC 入力部 7

U
USB コネクタ 101

X
XM30-AC1 96
XM30-CBL2 97
XM30-CBL2 ドライバの
インストール
Windows 2000 25
Windows 98 27
Windows Me 22
XM30-CBL2 ドライバの削除 . 90
XM30-CBL2 ドライバの
動作環境 3
XM30-CBL3 98

ア
アフターサービス 106

イ
一時停止 71, 72
イメージ調整 64
Windows 2000 の場合 65
Windows Me/98/95 の場合 62
印刷可能領域 80
印刷先のポートを変更
Windows 2000 の場合 86
Windows Me/98/95 の場合 84
印刷する 50
印刷中止 72
印刷ドキュメントの削除 .. 71
印刷の向き
Windows 2000 の場合 63
Windows Me/98/95 の場合 59
印刷倍率の設定
Windows 2000 の場合 65
Windows Me/98/95 の場合 62
印刷範囲
Windows CE の場合 58
印刷方式 100
印字総ドット 100
印字速度 100
印字ヘッド 9
インストール
XM30-CBL2 ドライバ 22
プリンタドライバ 30
インタフェース 100

オ

オプション	95
[オプション]タブメニュー	
Windows 2000 の場合	65
オプション品	105
温度	10

カ

解像度	100
Windows Me/98/95 の場合	61
カット紙のセット	49
稼動音	101
紙送りローラ	9

キ

給紙方法	
Windows 2000 の場合	63
Windows Me/98/95 の場合	59

ク

[グラフィックス]タブメニュー	
Windows Me/98/95 の場合	61
クリア	
印刷ジョブ	71

ケ

ケーブル仕様	101
ケーブル長	101

コ

困ったときは	115
--------------	-----

サ

サーマル用紙	81
サーマルラベル用紙	81
サーマルロール紙	81
再インストール	94
削除	
XM30-CBL2 ドライバ	90
印刷ドキュメント	71
プリンタドライバ	91
サプライ品	105

シ

湿度	10
重量	
ケーブル	101
本体	100
仕様	100
使用環境条件	100
使用上のお願い	10
詳細設定メニュー	64
詳細な印刷設定	64
消費電力	
ケーブル	101
本体	101
ジョブ情報	70
シリアルポート	7

ス

[スプールマネージャ] ウィンドウ	
構成	70
表示	68
寸法	100

セ

清掃	
プリンタ内部	76
プリンタヘッド	77
赤外線通信インタフェース部	7
赤外線通信で接続	17
設定ダイアログの表示	
Windows CE の場合	55
Windows の場合	54

タ

ダイアログボックスの構成	
Windows 2000 の場合	57
Windows CE の場合	58
Windows Me/98/95 の場合	56

ツ

通常使うプリンタに設定 ..	71
----------------	----

テ

ディザリング	61
[デバイスオプション] タブ	
メニュー	
Windows Me/98/95 の場合	62

電源

ケーブル	101
本体	101
電源スイッチ	6
電源表示ランプ	7
電池カバー	8
電池のセット	12
添付品	5

ト

動作環境	
XM30-CBL2 ドライバ	3
プリンタドライバ	4
[ドキュメント] メニュー .	72
特長	2
ドライバについて	3
トラブル	
印刷が行われない	118
印刷結果がおかしい ...	125
印刷速度が遅い	121
印刷品質が良くない ...	125
インストール時	117
エラーが発生した	127
用紙関係	123

ノ

濃度	61
----------	----

ハ

バージョン情報	59
ハーフトーン	64
パソコンとプリンタの接続	16

ヒ

〔表示〕メニュー	72
----------------	----

フ

フォント	100
部数	64
プリンタ USB ケーブル	97
プリンタ USB ケーブルで接続	18
プリンタケーブル	98
プリンタケーブルで接続	20
プリンタドライバのインストール	
Windows 2000 の場合	36
Windows CE の場合	44
Windows Me/98/95 の場合	30
プリンタドライバの削除	
Windows 2000 の場合	92
Windows Me/98/95 の場合	91
Windows CE の場合	94
プリンタドライバの動作環境	4
プリンタドライバの入手	88
プリンタの選択	
Windows CE の場合	58
〔プリンタ〕メニュー	71
プリンタをオフラインにする	71
プロパティ	72

ヘ

ページの順序	
Windows 2000 の場合	63
ペーパーカバー	8
ペーパーカバーロック	8
ヘルプメニュー	73

ホ

ポート	
Windows CE の場合	58

マ

マージン	80
------------	----

メ

メッセージ	102
-------------	-----

ヨ

〔用紙 / 品質〕タブメニュー	
Windows Me/98/95 の場合	63
用紙サイズ	64, 80
Windows CE の場合	58
用紙種類	100
用紙仕様	80
用紙センサー	9
用紙挿入部	7
〔用紙〕タブメニュー	
Windows Me/98/95	59

用紙のセット

カット紙	49
ロール紙	47
余白	80
Windows CE の場合	58

レ

[レイアウト]タブメニュー

Windows Me/98/95 の場合	63
----------------------	----

ロ

ロール紙のセット	47
----------------	----

サーマルプリンタ XM-30TE

取扱説明書

B5WY-0121-01-00

発行日 2000年10月

発行責任 富士通株式会社

-
- 本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。
 - 本書は、改善のため予告なし変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。



T4988618878470

B5WY-0121-01

このマニュアルは再生紙を使用しています。

【お詫びと訂正】

XM - 30TE 取扱説明書におきまして、記述の漏れがございました。

ここにお詫び申し上げますとともに、次のとおり追加させていただきます。

Windows2000 でのセットアップについて(P 25,P36 に追加)

- ・ Windows2000 でセットアップを行う際には、必ず Administrator 権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- また、あらかじめパソコンのシステムプロパティ上の「ドライバ署名オプション」にて「ファイルの署名の確認」を<無視>または<警告>に設定しておいてください。

プリンタUSBケーブルインストール時の注意について (P35 に追加)

- ・ WindowsMe/98 でパソコンによっては、プリンタ USB ケーブルおよびプリンタドライバをインストールした直後の印刷で「COM*への書き込みエラーです」が表示される場合があります。その場合、パソコンの接続が正しいことを確認しパソコンを再起動してください。

Windows2000 のユーザ定義サイズについて (P 64 に追加)

- ・ Windows2000 のユーザ定義サイズは、以下の方法で設定してください。
 - (1) タスクバーの「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」を選択します。
 - (2) 「ファイル」 - 「サーバのプロパティ」で用紙の名前と用紙サイズ（印刷用紙の高さと幅）を設定します。設定できる用紙サイズは次のとおりです(用紙サイズの高さと幅)
余白は設定しないでください。

単位(mm)

倍率	印刷用紙		印刷範囲		余白			
	高さ	幅	高さ	幅	上	下	左	右
100%	50 ~ 317.5	50 ~ 105.2	35 ~ 302.5	40 ~ 95.2	10	5	5	5
50%	50 ~ 317.5	50 ~ 200.4	35 ~ 302.5	40 ~ 190.4	10	5	5	5

- (3) P64 の「詳細を設定する」の画面の「用紙サイズ」に(2)で指定した用紙の名前を選択します。

プリンタUSBケーブルドライバのアンインストール時の注意について (P90 に追加)

- ・ WindowsMe/98 でパソコンによっては、プリンタ USB ケーブルドライバをアンインストールした際に「新しいXM30-CBL2 ドライバをインストールするには、Windows の再起動が必要です、再起動しますか?」のメッセージに対して「はい」ボタンをクリックして再起動をすると途中でパソコンが動作しなくなる場合があります。
- その場合、パソコンの電源を入れ直してください。